

病院の概況

令和2年5月

大分県立病院

基本理念

大分県立病院では、県民医療の基幹病院として、新しい時代に対応した質の高い医療を提供するため、「奉仕、信頼、進歩」の三つの基本理念を掲げ病院運営を行っています。

「奉仕」 医療は常に患者さんを中心とし、医療従事者は患者さんに対する絶え間ない「奉仕」を基本姿勢とします。

「信頼」 患者さんと医療従事者の「信頼」関係の上に、また職場間の「信頼」関係の上に理想的な真の医療を目指します。

「進歩」 日進月歩の医学に対しては、常に「進歩」し続けていく姿勢で臨み、質の高い医療を目指します。

基本方針

1 患者さん本位の医療の提供に努めます。

- ・ 患者さんの権利を遵守します。
- ・ 患者さんに対する十分な説明と同意のもとに医療を提供します。
- ・ 患者さんの負担軽減に努めます。
- ・ 診療情報の管理を徹底するとともに、適切に開示します。

2 安全管理の徹底に努めます。

- ・ 施設・設備を適切に管理運用します。
- ・ 安全で安心できる科学的根拠に基づいた医療を提供します。
- ・ チーム医療を推進します。
- ・ 安全教育を強化します。

3 基幹病院としての使命を果たします。

- ・ 高度・専門、特殊医療に取り組むとともに、救急医療の更なる充実に努めます。
- ・ 病病・病診連携を強化します。
- ・ 基幹災害医療センターとして、災害時医療救護体制の充実に努めます。

4 医療の質の向上に努めます。

- ・ 臨床研修機関として優秀な人材を育成します。
- ・ 研究、研修及び教育の機会を拡充します。
- ・ 最新の医療技術の修得に努めます。

5 経営基盤の確立に努めます。

- ・ 安定した経営基盤を確立し、継続的な県民医療の提供に努めます。
- ・ コスト削減に努めます。

目 次

1	病院の沿革	1
2	病院の組織機構	3
3	診療科紹介	4
4	主な医療施設基準等	5
5	主な認定施設等	5
6	職員の状況	6
7	職員配置表	7
8	施設の概要	14
(1)	土地、建物の内容	14
(2)	病院平面図	17
9	主要医療機器	22
10	業務概要	24
(1)	許可病床数	24
(2)	病棟別病床数	24
(3)	入院患者延数、新入院患者数、病床利用率、平均在院日数	24
(4)	診療科別入院患者延数	25
(5)	重症度、医療・看護必要度	25
(6)	外来患者延数、1日平均診療人数、新規外来患者数	25
(7)	診療科別外来患者延数	25
(8)	地域別患者数（令和元年度）	26
(9)	紹介率・逆紹介率	26
(10)	診療科別救急患者延数	26
(11)	ドクターカー、カンガルー号（新生児）、患者搬送ヘリ、救急ワークステーション活動件数	26
(12)	患者搬送ヘリ活動件数（内訳）	26
(13)	診療科別手術件数	27
(14)	内視鏡件数	27
(15)	人工透析件数	27
(16)	薬剤部業務数	27
(17)	放射線技術部業務数	27
(18)	臨床検査技術部業務数	28
(19)	栄養指導件数	28
(20)	患者給食数	28
(21)	がんセンター業務数（がん登録開始件数）	28
(22)	総合周産期母子医療センター業務数	28
(23)	救命救急センター業務数	29
(24)	循環器センター業務数	29
(25)	DPC / PDPS医療機関別係数＜機能評価係数Ⅱ＞	29
11	令和2年度予算実施計画	30
12	令和元年度決算報告	32
13	令和元年度の経営状況	34
14	病院事業会計 決算の推移	35
15	令和2年度院内定例会議	36
16	令和2年度院内各種委員会	37

1 病院の沿革

本院は、明治13年3月1日、大分市高砂町において鳥潟恒吉氏を初代院長兼医学校長とする「大分県病院兼医学校」として病床数30床で病院業務を開始して以来、139年の歴史を有しています。

明治22年から明治32年までは財政上の理由により閉鎖され、鳥潟恒吉氏が一般病院として経営したり、昭和20年7月17日に空襲により焼失するなど、幾多の変遷をたどりながら県民の強い要望のもと、診療機能の充実を図ってきました。

昭和44年には総病床数を610床に拡充し、がんセンターを併設しましたが、昭和50年代に入ると施設の老朽化、狭隘化が顕著となり、診療機能にも支障をきたすようになったことから、平成4年8月18日に大分市豊饒の地に新築移転しました。

新病院は、一般病床610床、伝染病床20床を整備し、さらに心臓血管外科、小児外科を新設するとともに、集中治療室、無菌室等の設置、新生児集中治療室の拡充を行い、県民医療の基幹病院としての役割を果たすよう高度・専門医療の充実を図りました。

平成14年1月には、二次救急を開始し、平成17年4月には、総合周産期母子医療センターの新設や、病棟の再編を行いました。

平成18年4月から、県の病院事業は、一層の経営健全化を図ることを目的に、地方公営企業法の一部適用から全部適用に移行し、「病院事業管理者」を設置する新たな経営体制となりました。

新しい体制のもと、平成18年9月には「大分県病院事業中期事業計画（平成19年度～22年度）」が策定されました。本計画では、「医療の質の向上」と「経営の健全化」が本院の柱とされ、これに基づき、平成19年度の病院機能評価の認定、地域がん診療連携拠点病院の指定、平成20年度のDPC対象病院の指定、救命救急センターの新設、平成21年度の地域医療支援病院の指定、平成22年度の地域医療部の設置、7対1看護体制の導入、病院総合情報システム（電子カルテ）の導入など、医療の質の向上及び効率化並びに地域医療連携の強化に取り組んできました。

平成22年10月に県立三重病院が公立おがた総合病院へ統合され、本院が唯一の県立の病院となりました。こうした背景のもと、「第二期中期事業計画（平成23年度～26年度）」が策定されました。本計画に基づき、周産期医療、小児医療、がん医療などの高度・専門医療の充実、救急医療、感染医療、災害医療などの政策医療への取り組みの強化を図り、平成26年度は4月に循環器センターの新設、11月に第一種感染症指定医療機関の指定を受けました。

本院は、新築移転から既に26年が経過し、基幹的設備の老朽化が懸念されることから、平成27年度から大規模改修工事に取り組んでいます。また同年3月に「第三期中期事業計画（平成27年度～30年度）」を策定し、医療機能の充実、安心・安全な医療提供体制の充実、経営基盤の強化及び大規模改修への対応等の課題に取り組み、平成28年度には、県立精神科が本院に併設されることが決定しました。

さらに、平成31年3月には、これまでの成果を踏まえつつ、継続的に良質な医療を提供するため、「挑戦と継続～県民に支持される病院を目指して～」を基本理念として「第四期中期事業計画（平成31年度～34年度）」を策定しました。

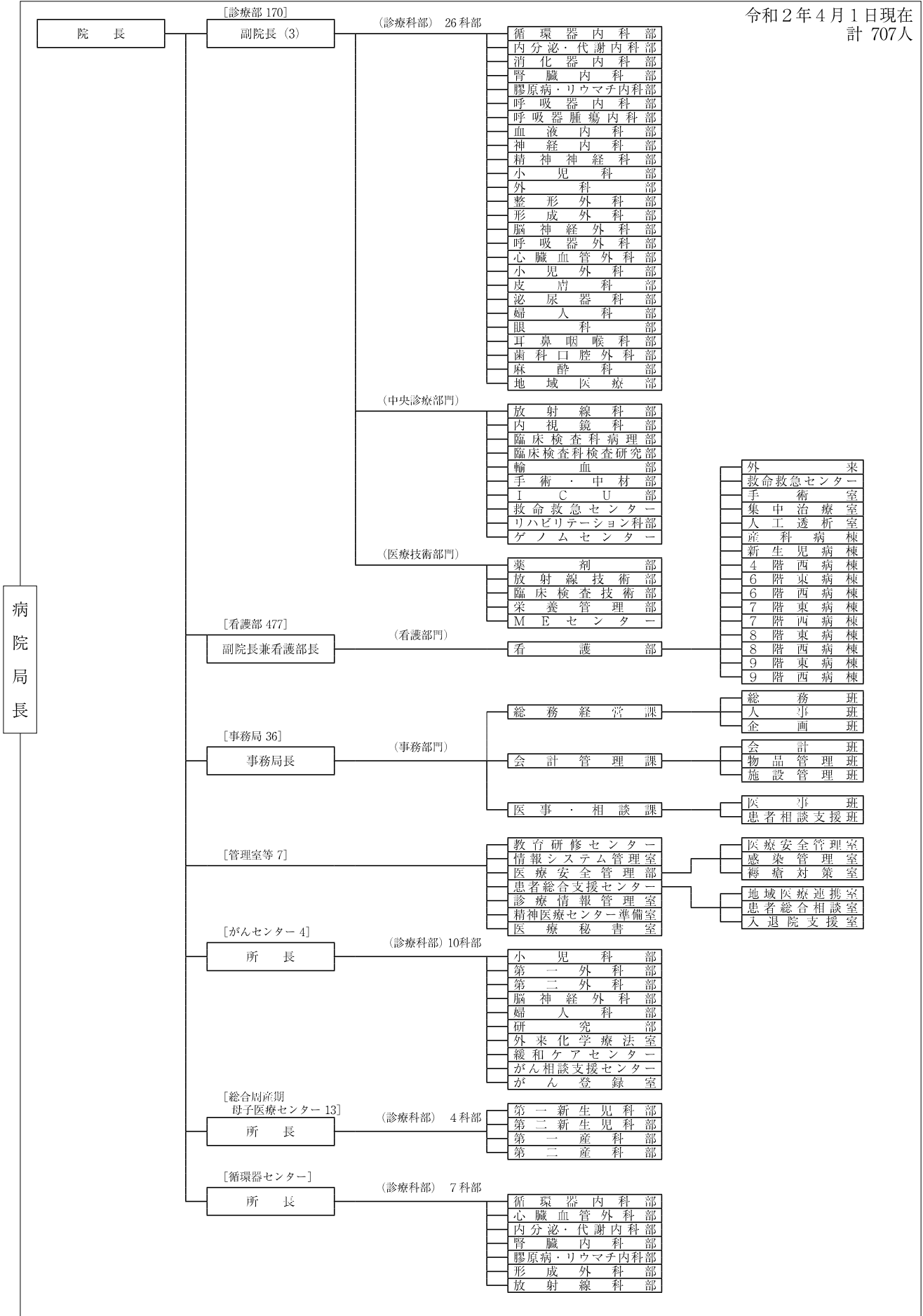
そして、いよいよ本県の長年の懸案であった県立精神科が令和2年10月1日に大分県立病院精神医療センターとして開設されることとなります。

今後とも、県民医療の基幹病院として、県民の安心・安全を医療面で支えるべく、なお一層努めてまいります。

明治13年	大分県病院兼医学校として発足
同 22年	財政上の理由により閉鎖
同 32年	内科と外科で再開
同 35年	産婦人科を新設
同 44年	眼科を新設
大正 4年	耳鼻咽喉科を新設
同 13年	皮ばい科を新設
同 15年	小児科を新設
昭和 2年	皮ばい科を皮膚科、泌尿器科とする
同 30年	整形外科を新設
同 33年	放射線科を新設
同 34年	成人病治療センター、神経科を新設（昭和50年精神神経科に改称）
同 35年	病理検査科を新設
同 39年	第二内科を新設
同 42年	歯科、理学診療科を新設（平成 9年歯科口腔外科、リハビリテーション科に改称） 成人病治療センターを第三内科に改称
同 43年	臨床研修病院に指定（厚生省）
同 44年	がん診療部、脳神経外科、麻酔科を新設
同 45年	生化学検査部を新設
同 47年	がん診療部をがんセンターに改称し、部制をしく。病理、生化学を統合して 中央検査部とする。健康管理部を新設
同 51年	第四内科を新設（昭和54年神経内科に改称）
同 57年	がんセンター胸部外科部を胸部・血管外科部に改称
同 58年	大分医科大学関連教育病院としての学生実習開始
同 59年	新生児医療室を新設
同 63年	臨床修練指定病院に指定（厚生省）
平成元年	MRI（核磁気共鳴画像診断装置）棟を新設 新生児救急車（豊の国カンガルー号）を配備（平成 7年高規格救急車に更新）
同 4年	新病院完成、移転（一般病床610床、伝染病床20床） 新生児科、心臓血管外科、小児外科を新設
同 9年	災害拠点病院（基幹災害医療センター）に指定
同 11年	伝染病床20床を感染症病床 6床へ変更
同 14年	地域がん診療拠点病院に指定（厚生労働省）
同 15年	SARS対策のため感染症病床 6床を16床へ変更 全てのオーダリングシステムの構築が完了
同 17年	総合周産期母子医療センターを新設 外来化学療法室を新設（11月）
同 18年	地方公営企業法全部適用に移行（4月） ICU部、手術部を新設（12月）
同 19年	救急部を新設（5月）
同 20年	病院機能評価 Ver.5.0 の認定（2月） 大分県地域がん診療連携拠点病院に指定（2月） DPC対象病院（7月） 救命救急センターを新設（11月/12床） 一般病床610床を566床へ変更（11月）
同 21年	形成外科を新設（4月） 地域医療支援病院に指定（4月）
同 22年	ドクターカーを導入（3月） 精神神経科外来を再開（4月） 地域医療部を新設（4月） 7対1看護体制の導入（11月）
同 23年	病院総合情報システム（電子カルテ）の導入（1月） 感染症病床16床を12床へ変更（4月）
同 25年	病院機能評価 Ver6.0 の認定（2月）
同 26年	循環器センターを新設（4月） 第一種感染症指定医療機関に指定（11月）
同 28年	診療支援センターを新設（4月） 腎臓・膠原病内科を腎臓内科と膠原病・リウマチ内科に再編（7月）
同 29年	呼吸器腫瘍内科を新設（1月）
同 30年	病院機能評価 3rdG：Ver.1.1 の認定（3月） 入退院支援センターを新設（10月）
令和元年	診療支援センターと入退院支援センターを統合し、患者総合支援センターを新設（4月） ゲノムセンター、緩和ケアセンターを新設（9月） 医療費自動精算機の導入（12月）
同 2年	地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定（4月）

2 病院の組織機構

令和2年4月1日現在
計 707人



3 診療科紹介

(診療部門)

循環器内科部	心臓病(狭心症、心筋梗塞、不整脈、弁膜症など)、高血圧症など
内分泌・代謝内科部	糖尿病、肥満症、高脂血症、内分泌(ホルモン)疾患など
消化器内科部	肝臓・胆のう・すい臓・胃・腸の病気など
腎臓内科部	腎臓病、人工透析など
膠原病・リウマチ内科部	膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど)
呼吸器内科部	肺や気管支などの病気、アレルギー、感染症など
呼吸器腫瘍内科部	呼吸器がん(肺癌、原発不明癌など)
血液内科部	白血病、リンパ腫などの血液悪性疾患を中心に各種貧血や血小板減少症など
神経内科部	脳卒中、痴呆性疾患、神経・筋疾患全般(手足の麻痺、痛み、けいれん、歩行障害など)
精神神経科部	神経症、うつ病、てんかん、統合失調症など
小児科部	小児(15歳まで)の内科的な疾患
外科(消化器・乳腺)部	外科一般(消化器、乳腺など)
整形外科部	関節外科、脊椎外科、四肢外傷外科、リウマチ科など
形成外科部	体表先天異常、熱傷や瘢痕、あざや皮膚腫瘍など
脳神経外科部	脳・脊髄の腫瘍、脳卒中、脳動脈瘤、頭部外傷など
呼吸器外科部	呼吸器疾患、胸部外傷、縦隔疾患など
心臓血管外科部	後天性心疾患、先天性心疾患、大動脈疾患、末梢血管疾患など
小児外科部	小児(15歳まで)の外科的な疾患
皮膚科部	じんましん、やけど、薬疹など
泌尿器科部	腫瘍、結石、膀胱炎、排尿障害など
婦人科部	婦人性疾患、不妊症など
眼科部	結膜炎、白内障、緑内障、糖尿病網膜症、斜視・弱視など
耳鼻咽喉科部	頭頸部腫瘍、めまい、鼻アレルギー、滲出性中耳炎など
歯科口腔外科部	口腔外科的疾患、有病者の歯科治療など
麻酔科部	麻酔、救急蘇生など

(中央診療部門)

放射線科部	放射線治療、CT検査、MR検査、RI検査、血管造影、超音波検査など
内視鏡科部	内視鏡的診断と治療(消化管、気管支など)
臨床検査科病理部	組織・細胞の病理学的検査
臨床検査科検査研究部	血液・尿等の検体検査、微生物検査の管理
輸血部	骨髄等の移植、血液型の検査、輸血用血液の管理
手術・中材部	手術室の管理、運営
救命救急センター	来院時心肺停止患者、多発外傷、中毒、各種ショックなどの高度救急医療
リハビリテーション科部	院内全診療科に対応した理学療法
ゲノムセンター	がんゲノム医療の遺伝カウンセリング

(がんセンター)

小児科部	小児がん
第一外科部	消化器がん(胃、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓など)、乳がん
第二外科部	
脳神経外科部	脳及び脊髄の腫瘍
婦人科部	婦人がん、絨毛性腫瘍

(総合周産期母子医療センター)

第一新生児科部	出生早期の新生児の治療
第二新生児科部	発育・発達のサポート
第一産科部	出生前診断、特殊外来(出生前診断(超音波診断のみ)、助産師外来)
第二産科部	妊産婦のハイリスク管理

(循環器センター)

循環器内科部	心臓病(狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、弁膜症など)、高血圧症など
心臓血管外科部	心臓血管疾患に対する外科的治療、血管内治療など
内分泌・代謝内科部	糖尿病、肥満症、高脂血症、内分泌(ホルモン)疾患など
腎臓内科部	腎臓病、人工透析など
膠原病・リウマチ内科部	膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど)
形成外科部	下肢閉塞性動脈硬化症・糖尿病・膠原病などによる難治性潰瘍・壊疽、静脈鬱滞性潰瘍など
放射線科部	CT検査、MR検査、RI検査、血管造影など

4 主な医療施設基準等

名 称	指定等の年月日
保険医療機関	平成4年8月18日
国民健康保険療養取扱機関	平成4年8月18日
生活保護法指定病院	平成4年8月18日
労災保険指定医療機関	平成4年8月18日
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関	平成4年8月18日
救急告示病院	平成4年10月17日
献腎摘出協力医療機関	平成4年11月21日
エイズ治療拠点病院	平成6年3月31日
災害拠点病院（基幹災害医療センター）	平成9年3月28日
第二種感染症指定医療機関	平成11年4月1日
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第14条第1項の規定による指定届出医療機関	平成11年4月1日
二次救急指定病院	平成14年1月7日
非血縁者間骨髄採取・移植認定施設	平成14年7月3日
非血縁者間臍帯血移植病院	平成16年6月2日
小児救急医療拠点病院	平成17年4月1日
総合周産期母子医療センター	平成17年4月1日
DMA T指定病院	平成20年2月4日
救命救急センター（三次救急指定病院）	平成20年11月1日
地域医療支援病院	平成21年4月27日
へき地医療拠点病院	平成23年4月1日
非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植認定施設	平成23年6月2日
第一種感染症指定医療機関	平成26年11月10日
地域がん診療連携拠点病院（高度型）	令和2年4月1日

5 主な認定施設等

名 称	名 称
臨床研修指定病院	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
大分大学医学部関連教育病院	日本放射線腫瘍学会認定施設
母体保護法指定医研修病院	日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本内科学会認定医制度教育病院	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本IVR学会専門医修練施設	日本救急医学会認定救急科専門医指定施設
日本アレルギー学会認定教育施設	日本呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設
日本感染症学会認定研修施設	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本肝臓学会認定施設	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
日本血液学会認定血液研修施設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設	日本周産期・新生児医学会専門医制度（新生児・母体・胎児）基幹施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設	日本消化器外科学会専門医修練施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本小児科学会小児科専門医研修支援施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設
日本小児科学会専門医研修施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本小児神経学会小児神経専門医研修認定施設関連施設	日本精神神経学会精神科専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本輸血細胞治療学会I&A認証施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	非血縁者間末梢血幹細胞採取・移植認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設	非血縁者間骨髄採取・移植認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士認定教育施設	日本核医学会専門医教育病院
日本栄養療法推進協議会NST稼働施設	日本肥満学会認定肥満症専門病院
日本脳卒中学会認定教育病院	日本糖尿病学会認定教育施設
日本病理学会病理専門医制度研修認定病院B	日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
日本麻酔科学会認定病院	日本透析医学会認定教育関連施設
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設	日本脳神経外科学会認定研修連携施設
日本輸血細胞治療学会認定輸血検査技師制度指定施設	日本腎臓学会研修施設
日本臨床細胞学会認定施設	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設	日本心血管インターベンション治療学会研修施設群連携施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本小児外科学会専門医制度専門医育成認定施設	日本輸血・細胞治療学会 学会認定・臨床輸血看護師制度研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	

6 職員の状況

令和2年4月1日現在

区 分		正 規 職 員	常 勤 職 員	非 常 勤 職 員	計	
診 療 部 門	医 師	100	16	58	174	
	歯 科 医 師		1		1	
	診 療 科	臨 床 心 理 士	2			2
		視 能 訓 練 士		2		2
		耳 鼻 咽 喉 科 補 助			1	1
		歯 科 衛 生 士			2	2
		救 急 受 付			1	1
		放 射 線 科 受 付			2	2
	薬 剤	薬 剤 師	19		7	26
		受 付			3	3
	放 射 線	診 療 放 射 線 技 師	21	2	1	24
		助 手			4	4
	検 査	臨 床 検 査 技 師	29	3	8	40
		検 査 助 手			2	2
	栄 養	管 理 栄 養 士	5	3		8
		庶 務			1	1
	理 学 療 法 士	5			5	
	作 業 療 法 士	1			1	
	言 語 聴 覚 士			1	1	
臨 床 工 学 技 士	5	4		9		
小 計		187	32	90	309	
看 護 部 門	助 産 師	43	5	1	49	
	看 護 師	434	70	26	530	
	保 育 士		1		1	
	事 務			2	2	
	看 護 補 助 者			37	37	
	滅 菌 管 理 業 務			3	3	
小 計		477	76	69	622	
管 理 部 門	事 務	総 務 経 営 課	19		12	31
		会 計 管 理 課	8		6	14
		医 事 ・ 相 談 課	8		7	15
		医 療 安 全 管 理 部			2	2
		診 療 情 報 管 理 室	2	4		6
		患 者 総 合 支 援 セ ン タ ー	4	2	6	12
		精 神 医 療 セ ン タ ー 準 備 室			1	1
		医 療 秘 書			31	31
	小 計		41	6	65	112
	電 気 技 師	1			1	
電 話 交 換 手			3	3		
調 理 員	1			1		
小 計		43	6	68	117	
計		707	114	227	1,048	

7 職員配置表

(1) 医師

令和2年4月1日

院長、副院長を含む ↓ (自) 自治医大、(専) 専攻医、(嘱) 嘱託医、その他は管理型・協力型研修医 ↓

診療科名	定員	(40)	(36)	(18)	(6)	(46)	(29)
		部長	副部長	主任医師	医師	非常勤	医師等
循環器内科部	4	村松 浩平	上運天 均 古閑 靖章 中野 正紹	新富 将央		(専) 野田 英里 (専) 若槻 卓成 (専) 木村 光邦	内海 杏香 鈴木 智也 黒坂 一輝
内分泌・代謝内科部	2	瀬口 正志		白石賢太郎		(常嘱) 森田真智子 (専) 山田 晃嗣	藤川 一朗
消化器内科部	3	兼) 加藤 有史	小野 英樹 橋水 正彦 兼) 高木 崇	岩津 伸一		(専) 木本 喬博 (専) 平井 哲	柴田 稔文 児玉 洋資 (自) 佐藤 大貴
腎臓内科部	1	縄田 智子 兼) 柴富 和貴				(嘱) 丸尾美咲[産休] (常嘱) 山口奈保美 (専) 鈴木 智子	馬場 晶子 矢野 文子
膠原病・リウマチ内科部	1	柴富 和貴				兼) (嘱) 丸尾美咲[産休]	
呼吸器内科部	1	安東 優 兼) 森永亮太郎		菅 貴将		(嘱) 表 絵里香 (常嘱) 内田そのえ (常嘱) 宮崎 周也 (専) 廣田 昇馬	重見 英仁 丸山 莉果
呼吸器腫瘍内科部	1	森永亮太郎		久松 靖史			
血液内科部	1	大塚 英一 兼) 宮崎 泰彦		佐分利益徳 高田 寛之		(専) 坂田 真規	卯野 明大 児玉 洋資 中尾 優衣
神経内科部	3	麻生 泰弘			佐藤 龍一 中道 淳仁 角 華織	(専) 内田 大達	内野真恵子 (自) 豊田 那智
精神神経科部	1	兼) 塩月 一平		兼久 雅之			
小児科部	6	兼) 大野 拓郎 兼) 飯田 浩一 兼) 赤石 睦美	岩松 浩子 兼) 塩穴 真一 兼) 米本 大貴 兼) 慶田 裕美	川口 直樹 兼) 中嶋 美咲 (自) 岩崎 智裕 *自治医専門研修		(専) 梶原 健太 (専) 西林 隼人 (専) 吉里 倫 (専) 末松 真弥 (専) 田中 博史	山下 もも 藤山 徹
外科部	8	兼) 宇都宮 徹 兼) 板東然志雄 兼) 池部 正彦	増野浩二郎 佐々木 淳 増田 隆伸 藤島 紀	堤 智崇 野田 英和 坂田 一仁 (自) 中野 光司 *自治医専門研修			平田 健悟 古屋 伶樹
整形外科部	2	東 努 兼) 井上 博文	杉谷 勇二			(常嘱) 赤瀬 広弥 (専) 川岸 正周	成田 靖
形成外科部	1	加藤 愛子		足立惠理[育休]			
脳神経外科部	2	中野 俊久 兼) 永井 康之	下高 一徳				
呼吸器外科部	3	蒲原涼太郎	扇玉 秀順		今井 諒		久下 舜介
心臓血管外科部	3	山田 卓史	久田 洋一 尾立 朋大				
小児外科部	2	村守 克己	坂本 浩一	福原 雅弘		(常嘱) 佐藤 智江	松木 康介
皮膚科部	1	竹尾 直子		中村 優佑		(常嘱) 轟木 麻子 (専) 宮崎早百合[産休] (専) 角沖 史野	
泌尿器科部	2	友田 稔久		山田 茂智	熊谷 昌俊	(専) 犬塚 崇文	
婦人科部	2	井上 貴史 兼) 佐藤 昌司 兼) 豊福 一輝 兼) 中村 聡	嶺 真一郎 兼) 後藤 清美 兼) 竹内 正久		大神 靖也	(専) 神尊 雅章 (専) 井上浩太郎	
眼科部	2	池辺 徹	山田喜三郎			(常嘱) 楠瀬 真美	
耳鼻咽喉科部	2	藤田 佳吾	岩崎 太郎			(専) 篠村 夏織 (専) 梶井 愛美	
歯科口腔外科部						(常嘱) 田嶋 颯江	
麻酔科部	5	宇野 太啓	油布 克巳 木田 景子 金ヶ江政賢 西田 太一 甲斐 真也				上野 愛実 山中茉莉夢
地域医療部	5		高木 崇 塩穴 真一 兼) 河口 政徳 兼) 塩穴恵理子				

病院長
田代 英哉

院長
井上 敏郎

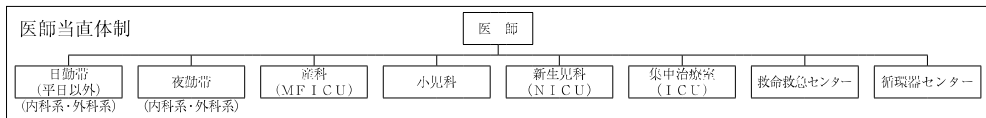
副院長
佐藤 昌司

副院長
加藤 有史

副院長
宇都宮 徹

県立療病部門院

中央診療部門	放射線科部	4	岡田 文人	柏木 淳之 板谷 貴好	佐藤 明佳	(常嘱) 馬場 博	山原 茉莉 脇田 貴大
	内視鏡科部			兼) 小野 英樹			
	臨床検査科病理部	1	下部 省悟			(常嘱) 和田 純平	
	臨床検査科検査研究部		加島 健司				
	輸血部	1	宮崎 泰彦				
	手術・中材部		兼) 宇都宮 徹	兼) 宇野 太啓 兼) 友田 稔久			
	I C U 部		兼) 宇野 太啓	兼) 安東 優 兼) 蒲原涼太郎			
	救命救急センター	7	所長 山本 明彦	寺師 貴啓 河口 政慎 塩穴恵理子 二日市琢良			石嶋 寛子 (自) 園田 佳歩 (自) 時永 優希
	リハビリテーション科部	1	井上 博文 兼) 東 努				
	ゲノムセンター		所長 兼) 佐藤 昌司	副所長 兼) 加藤 有史 兼) 宇都宮 徹			
がんセンター	副所長		兼) 宇都宮 徹				
	副所長		兼) 大塚 英一				
	副所長		兼) 下部 省悟				
	小児科部						
	第一外科部	1	板東登志雄				
	第二外科部	1	池部 正彦				
	脳神経外科部	1	水井 康之				
	婦人科部	1	中村 聡				
	研究部		兼) 森永亮太郎				
	外東化学療法室		兼) 大塚 英一				
緩和ケアセンター		兼) 森永亮太郎	兼) 塩月 一平	兼) 久松 靖史			
がん相談支援センター		兼) 宇都宮 徹	兼) 井上 貴史				
がん登録室		兼) 加藤 有史					
総合周産期母子医療センター	第一新生児科部	4	飯田 浩一 兼) 大野 拓郎	米本 大貴		(常嘱) 香月比加留 (専) 井上 雅崇	後藤 未央
	第二新生児科部	3	赤石 睦美	慶田 裕美 兼) 若松 浩子	中嶋 美咲 兼) 川口 直樹	(専) 市地さくら	
	第一産科部	3	兼) 佐藤 昌司 兼) 中村 聡 兼) 井上 貴史	竹内 正久		(常嘱) 小山 尚子 (常嘱) 穴井麻友美 (常嘱) 衛藤 聡	杉本 未来 市原 勝吾 西川 匠
	第二産科部	3	豊福 一輝	後藤 清美 兼) 嶺 真一郎		(常嘱) 林下 千宙 (専) 永光今日香 (専) 川野 道子	
循環器センター	副所長		兼) 村松 浩平				
	循環器内科部		兼) 村松 浩平				
	心臓血管外科部		兼) 山田 卓史				
	内分泌・代謝内科部		兼) 瀬口 正志				
	腎臓内科部		兼) 細田 智子				
	膠原病・リウマチ内科部		兼) 柴富 和貴				
形成外科部		兼) 加藤 愛子					
放射線科部		兼) 岡田 文人					
医療安全管理部	教育研修センター		所長 兼) 加藤 有史	副所長 兼) 宇都宮 徹 兼) 柴富 和貴 兼) 大野 拓郎			
	医療安全管理室		室長 兼) 佐藤 昌司	副室長 兼) 飯田 浩一			
	感染管理室		室長 山崎 透				
	褥瘡対策室		室長 兼) 竹尾 直子				
	情報システム管理室		室長 兼) 井上 博文	副室長 兼) 加島 健司			
	診療情報管理室		室長 兼) 加藤 有史	副室長 兼) 森永亮太郎			
	医療秘書室		室長 兼) 宇都宮 徹				
	M E センター		所長 兼) 山田 卓史				
	患者総合支援センター		所長 兼) 宇都宮 徹	兼) 加藤 有史 兼) 瀬口 正志	兼) 麻生 泰弘 兼) 安東 優	兼) 山本 明彦 兼) 大野 拓郎	
	精神医療センター 標準 備室		室長 塩月 一平		兼) 兼久 雅之		



管理型・協力型研修医 (単位:人)

年度	区分		計
	1年次	2年次	
令和2年度	20 (15)	14 (14)	34 (29)

※4月1日時点
※() ……うち管理型

(2) リハビリテーション科部 (役職員)

部長 井上博文	主任理学療法士 都甲純
------------	----------------

(3) 薬剤部 (役職員)

部長 渡邊和弥	副部長 大森由紀 山田剛	専門薬剤師 長野真紀	主任薬剤師 廣田剛 櫻木美穂子 今村洋貴 田中幸代 清國直樹 森仁志
------------	--------------------	---------------	--

(4) 放射線技術部 (役職員)

部長 田代浩昭	副部長 佐藤潔 羽田道彦	専門診療放射線技師 御手洗徹 瑞木恵一	主任診療放射線技師 池尻慎哉 森山俊一 西嶋康二郎 秋山祐葵 池田香世 井元めぐみ 奥戸博貴
------------	--------------------	---------------------------	---

(5) 臨床検査技術部 (役職員)

部長 鳥越圭二郎	副部長 河野好裕 河野克也 江藤康夫	専門臨床検査技師 伊賀上郁 富松貴裕 梶川幸二 森弥生	主任臨床検査技師 佐藤恭子 宇都宮孝美 藤島正幸 山本真富果
-------------	-----------------------------	---	--

(6) 栄養管理部 (役職員)

部長 宇都宮みどり	副部長 津田克彦	専門栄養士 末廣美香	主任栄養士 稲垣孝江 安達悦子
--------------	-------------	---------------	-----------------------

(7) MEセンター

(兼) 所長 山田卓史	臨床工学技士 佐田真理 佐藤大輔 佐藤史弥 三浦利恵 山内悠大
----------------	--

(8) 看護部(役職員)

副院長兼看護部長 玉井保子	副部長 村上博美 副部長 河野伸子 副部長 佐藤真由美 副部長 山口真由美 副部長 小畑絹代 看護師長 後藤紀代美	看護師長(4階西) 平下理香	副看護師長 裏桂子 安東美抄	主任看護師 砂水美和 黒木雪絵
		看護師長(6階東) 野川敦子	副看護師長 姫野寿代子 中村真理子	主任看護師 甲斐淑惠 長斐朝子
		看護師長(6階西) 田原裕美	副看護師長 高山瑞穂 友成路世	主任看護師 梅木宏惠 齊藤ひとみ
		看護師長(7階東) 瑞木恵美	副看護師長 熊田東子 安藤勝美	主任看護師 後藤和恵 佐藤寛子
		看護師長(7階西) 河野明美	副看護師長 大森久美 岡田茂美	主任看護師 野矢亜矢 森永千佳子
		副部長兼看護師長(8階東) 村上博美	副看護師長 相澤麻里香 竹尾春香	主任看護師 波多野奈美子 久土地晶代
		看護師長(8階西) 秦和美	副看護師長 廣瀬なるみ 平井知加子	主任看護師 橋本富子 辰巳香里 佐藤容子 阿部真由美
		看護師長(9階東) 姫野志麻	副看護師長 吉田律子 藤澤佳美	主任看護師 亀井久美子 三代靖子
		看護師長(9階西) 野口寿美	副看護師長 宿野由美子 伊東律子	主任看護師 棚町智美 牧久恵 伊東小百合
		副部長兼看護師長(外来) 河野伸子	副看護師長 宮成美弥子 山本美佐子 仲道智美子 東田直子 山本由美津 藤瀬志津	主任看護師 首藤久恵 泥谷亜子 佐藤由美 谷口由美 田中瑞奈
		看護師長(救命救急センター) 中請千恵子	副看護師長 小野恭子 大嶋裕美 末綱真建 二宮建二	主任看護師 林田弘美 寺本昌代 西由香里 佐藤しのぶ
		看護師長(手術室) 深田真由美	副看護師長 佐藤美泉 伊藤美江	主任看護師 綾部由美
		看護師長(集中治療室) 久保真佐子	副看護師長 小川央美 浅川広美	主任看護師 永井千織 佐藤千恵子
		看護師長(人工透析室) 佐々木祐三子		主任看護師 倉原さゆり
		看護師長(産科病棟) 甲斐洋子	副看護師長 廣橋紀江 川野理恵子 小野直子 河野有子	主任助産師 赤井早苗 迫彰子
		看護師長(新生児回復病棟) 平山珠江	副看護師長 御手洗仁美子 藤本亜希子	主任助産師 佐藤久美子 藤福多恵
		看護師長(新生児集中治療室) 佐々木幸美	副看護師長 赤嶺顕子 加茂りさ	主任看護師 衛藤純子 深井昌子

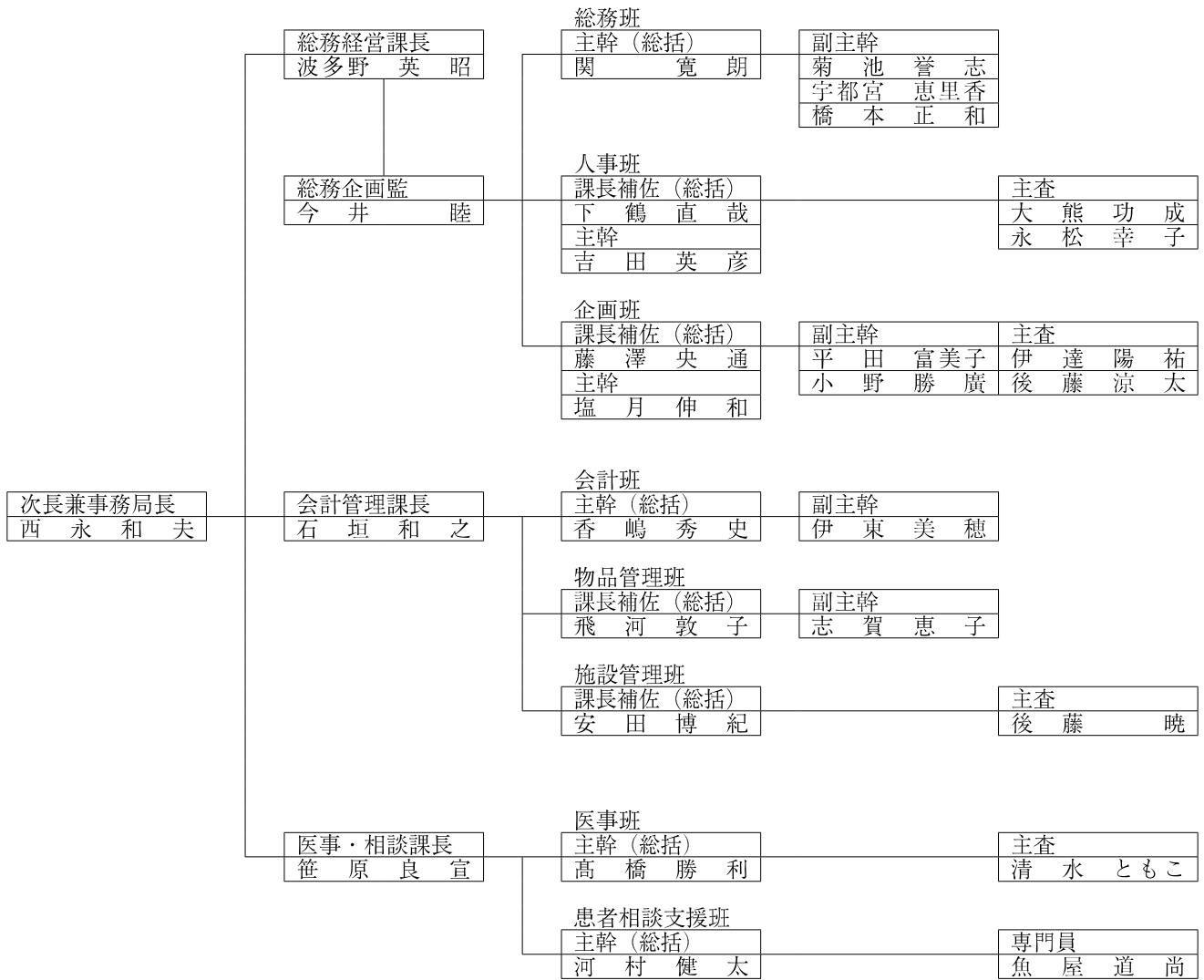
認定・専門看護師数

(単位:人)

年度	区分	認定看護師	認定看護管理者	専門看護師
令和2年度	19	がん化学療法(2) がん性疼痛(1) がん放射線療法(1) 乳がん(1) 緩和ケア(1) 手術(1) 集中ケア(1) 摂食・嚥下障害(1) 新生児集中ケア(1) 慢性心不全(1) 感染管理(1) 皮膚・排泄ケア(3) 糖尿病(2) 認知症(2)	1	5
				小児(1) がん(4)

※4月1日時点

(9) 事務局 (役職員)



(10) 教育研修センター

(兼) 所長 加 藤 有 史	(兼) 副所長 宇都宮 徹 柴 富 和 貴 大 野 拓 郎	(兼) 大 森 由 紀 (薬剤部副部長) 羽 田 道 彦 (放射線技術部副部長) 河 野 克 也 (臨床検査技術部副部長) 津 田 克 彦 (栄養管理部副部長) 品 川 陽 子 (看護部看護師長) 波 多 野 英 昭 (総務経営課長) 下 鶴 直 哉 (総務経営課人事班課長補佐(総括)) 永 松 幸 子 (総務経営課人事班主査) 麻 生 貴 紀 (総務経営課人事班主事)
-------------------	--	---

(11) 情報システム管理室

(兼) 室長 井 上 博 文	(兼) 副室長 加 島 健 司	(兼) 藤 澤 央 通 (総務経営課企画班課長補佐(総括)) 塩 月 伸 和 (総務経営課企画班主幹) 平 田 富美子 (総務経営課企画班副主幹) 小 野 勝 廣 (総務経営課企画班副主幹) 伊 達 陽 祐 (総務経営課企画班主査) 後 藤 涼 太 (総務経営課企画班主査)
-------------------	--------------------	---

(12) 医療安全管理部

(兼) 部長 佐藤 昌司	医療安全管理室		
	(兼) 室長 佐藤 昌司	(兼) 副室長 飯田 浩一	(兼) 副室長(看護部副部長) 小畑 絹代
			副看護師長 横田 幸恵 主任看護師 田中 雅代
			山田 剛 (薬剤部副部長)
			(兼)
			佐藤 潔 (放射線技術部副部長)
			河野 好裕 (臨床検査技術部副部長)
			佐藤 大輔 (MEセンター臨床工学技士)
			波多野 英昭 (総務経営課長)
			関 寛朗 (総務経営課総務班主幹(総括))
	感染管理室		
	室長 山崎 透	(兼) 副室長(看護部副部長) 小畑 絹代	看護師長 大津 佐知江
		(兼)	
		清 直樹 (薬剤部主任薬剤師)	
		一ノ瀬 和也 (臨床検査技術部技師)	
		波多野 英昭 (総務経営課長)	
		藤 央通 (総務経営課企画班課長補佐(総括))	
	褥瘡対策室		
	(兼) 室長 竹尾 直子	(兼) 副室長(看護部副部長) 小畑 絹代	主任(看護師) 多田 章子
		(兼)	
		波多野 英昭 (総務経営課長)	
		関 寛朗 (総務経営課総務班主幹(総括))	

(13) 患者総合支援センター

(兼) 所長 宇都宮 徹	(兼) 副所長 笹原 良宣			
		(兼)	加藤 有史 (副院長兼がんセンター所長兼消化器内科部長)	
			麻生 泰弘 (神経内科部長)	
			瀬口 正志 (内分泌・代謝内科部長)	
			安東 優 (呼吸器内科部長)	
			大野 拓郎 (小児科部長)	
			山本 明彦 (救命救急センター所長)	
		地域医療連携室		
		(兼) 室長 宇都宮 徹	副室長(看護部副部長) 高屋 智栄実	副看護師長 栗師寺 真弓 主任看護師 菅 千春 玉山 清美 重野 文江 主査(社会福祉士) 楠元 緑
				主任(看護師) 仲野 若菜 主事(社会福祉士) 菅 千春 主事(精神保健福祉士) 坪井 弥生 鳥居 和朝 花宮 康介
	患者総合相談室			
	(兼) 室長 笹原 良宣	(兼) 副室長 河村 健太	(兼) 専門員 魚屋 道尚 (兼) 主事(社会福祉士) 河野 星華	
	入退院支援室			
	(兼) 室長 宇都宮 徹	副室長(看護部副部長) 東原 清美	看護師長 坂井 綾子 主任(看護師) 鈴木 真弓	

(14) 診療情報管理室

(兼) 室長 加藤 有史	(兼) 副室長 森 永 亮太郎	主任(診療情報管理士) 天 方 多 恵
(兼)		
笹 原 良 宣 (医事・相談課長)		
高 橋 勝 利 (医事・相談課医事班主幹(総括))		
清 水 と も こ (医事・相談課医事班主査)		
山 村 真 理 (医事・相談課医事班主任)		
御 堂 菜 々 華 (医事・相談課医事班主事)		

(15) 精神医療センター準備室

室長 塩 月 一 平	(兼) 副室長 兼 久 雅 之 今 井 睦 副室長(看護部副部長) 佐 藤 真 由 美	(兼) 田 野 幸 代 (副看護師長) 二 宮 建 二 (副看護師長) 棚 町 智 美 (主任看護師) 河 野 理 絵 (主任看護師) 高 山 将 嗣 (看護師) 主任看護師 阿 部 真 由 美	(兼) 下 鶴 直 哉 (総務経営課人事班課長補佐(総括)) 藤 澤 央 通 (総務経営課企画班課長補佐(総括)) 塩 月 伸 和 (総務経営課企画班主幹) 飛 河 敦 子 (会計管理課物品班課長補佐(総括)) 安 田 博 紀 (会計管理課施設管理班課長補佐(総括)) 高 橋 勝 利 (医事・相談課医事班主幹(総括)) 林 千 和 (臨床心理士) 齊 藤 美 由 紀 (臨床心理士) 坪 井 弥 生 (精神保健福祉士) 鳥 居 和 朝 (精神保健福祉士) 花 宮 康 介 (精神保健福祉士)
---------------	---	--	---

(16) ゲノムセンター

(兼) 所長 佐 藤 昌 司	(兼) 副所長 加 藤 有 史 宇 都 宮 徹
-------------------	-------------------------------

(17) 医療秘書室

(兼) 室長 宇 都 宮 徹	(兼) 副室長 笹 原 良 宣
-------------------	--------------------

(18) がんセンター

(兼) 所長 加 藤 有 史	(兼) 副所長 宇 都 宮 徹 大 塚 英 一 卜 部 省 悟	(兼) 小 畑 絹 代 (看護部副部長) 藤 澤 央 通 (総務経営課企画班課長補佐(総括)) 平 田 富 美 子 (総務経営課企画班副主幹)
外来化学療法室		
(兼) 室長 大 塚 英 一		副看護師長 東 田 直 子 主任看護師 佐 藤 由 美 末 松 真 三 子
緩和ケアセンター		
(兼) 所長 森 永 亮 太 郎	(兼) 副所長 塩 月 一 平	医師 久 松 靖 史 副看護師長 菅 原 真 由 美 主任看護師 川 野 京 子
がん相談支援センター		
(兼) 所長 宇 都 宮 徹	(兼) 副所長 井 上 貴 史	副看護師長 杉 永 彰 子 主任看護師 泥 谷 亜 子
がん登録室		
(兼) 室長 加 藤 有 史		(兼) 看護部副部長 小 畑 絹 代 (兼) 副看護師長 菅 原 真 由 美 (兼) 主事(社会福祉士) 河 野 星 華
主任(診療情報管理士) 首 藤 真 由 美		

8 施設の概要

(1) 土地、建物の内容

- 病院本館 所在地 大分市豊饒二丁目8番1号（電話 546-7111）
 土地……敷地面積 45,576.09㎡
 建物……建築面積 13,424.93㎡ 延面積 45,918.50㎡

名称 ㎡	構造	階	床面積 ㎡	用途	竣工年月日
病院本館 42,581.76	SRC造 (一部RC造・S造)	1	9,687.10	循環器内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科、呼吸器内科、外科（消化器・乳腺）、血液内科、神経内科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器腫瘍内科、心臓血管外科、皮膚科、婦人科、放射線科、内視鏡科、中央待合ホール、生理機能検査室、薬剤部、放射線撮影・治療室、医事・相談課、患者総合支援センター、入院受付、救急室、救命救急センター初療室、外来トリアージ室、銀行ATM、防災センター〈周産期センター〉小児科、新生児科、小児外科、産科〈増築棟〉外来化学療法室	H4. 3. 15 周産期センター H16. 12. 17 増築棟 H28. 5. 31
		2	9,098.67	精神神経科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科、セカンドオペニオン外来、中央手術室、ICU、中央材料室、総合検査室、病理検査室、微生物検査室、輸血室、栄養管理部、栄養指導室、カルテ管理室、電算室、診療情報管理室、給食（調理室・事務室）、職員・一般食堂、中央採血室、中央処置室、緩和ケアセンター〈周産期センター〉産科病棟、MFICU、手術室、分娩室〈増築棟〉リハビリテーション科	
		3	4,392.47	院長室、副院長室、事務局長室、看護部長室、事務局、診療科部長室、医局、講堂、会議室、図書・研究室、地域医療室、病院局長室 〈周産期センター〉新生児病棟、NICU	
		4	3,050.91	〈救命救急センター〉救急ICU（CCU）、救急高次治療室、救急HCU 西病棟 院内学級（小、中）、人工透析室 小児科、小児外科 医療安全管理部	
		5	2,450.39	感染症病床 MEセンター、研修医室、学生実習室、教育研修室 診療科部長室、会議室	
		6	2,450.39	東病棟 血液内科、耳鼻咽喉頭科 西病棟 血液内科、脳神経外科、眼科、神経内科	
		7	2,450.39	東病棟 循環器内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科、心臓血管外科 西病棟 外科（消化器外科）、泌尿器科	

名称 m ²	構造	階	床面積 m ²	用途	竣工年月日
		8	2,450.39	東病棟 消化器内科、神経内科 西病棟 整形外科、皮膚科、形成外科、神経内科	H25. 6. 19 エレベーター追加
		9	2,450.39	東病棟 外科（消化器外科、乳腺外科）、婦人科 西病棟 呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、呼吸器外科、外科 （消化器外科、乳腺外科）、膠原病・リウマチ内科	
		10	932.47	機械室、ヘリポート用エレベーター	
		PH	173.92	エレベーター機械室、高架水槽室	
		R		ヘリポート	
		B1	2,994.27	売店、理美容室、霊安室 自販機コーナー、機械室	
エネルギー棟 2,096.60	R C 造	1	1,344.00	発電機室、ボイラー室、空調機械室、ポンプ室、倉庫 燃料タンク室、ボイラー監視室、職員駐輪場	H 4 . 3 . 15
		2	752.60	電気室、中央監視室、図面庫、ファンルーム クーリングタワー	
附属棟 395.40	S 造 R C 造	1	395.40	自転車置場、液酸タンク室、受水槽ポンプ室 車椅子駐車場 化学排水処理室（H30.9.28建替）	H 4 . 3 . 15 H23. 3. 22 車椅子駐車場追加
		2	381.30		H23. 3. 22 増改築
三養院 844.74	R C 造	1	463.44	病室、污水处理施設	H 4 . 2 . 27
		2	381.30		H23. 3. 22 増改築
計			45,918.50		

○ 院内保育園 所在地 大分市豊饒二丁目7番3号
土地…………敷地面積 1,289.93m²
建物…………建築面積 412.44m² 延面積 366.98m²

名称	構造	階	床面積 m ²	用途	竣工年月日
保育園	木造	1	366.98	保育室、夜間保育室、調乳室、沐浴室、調理室、事務室 病児保育室	H 4 . 7 . 29 H23. 3. 22 病児保育室増築

- 医師看護師宿舎 所在地 大分市畑中一丁目12番2号
 土地…………敷地面積 1,474.00㎡ (大分市からの借用地)
 建物…………建築面積 421.52㎡ 延面積 1,333.79㎡

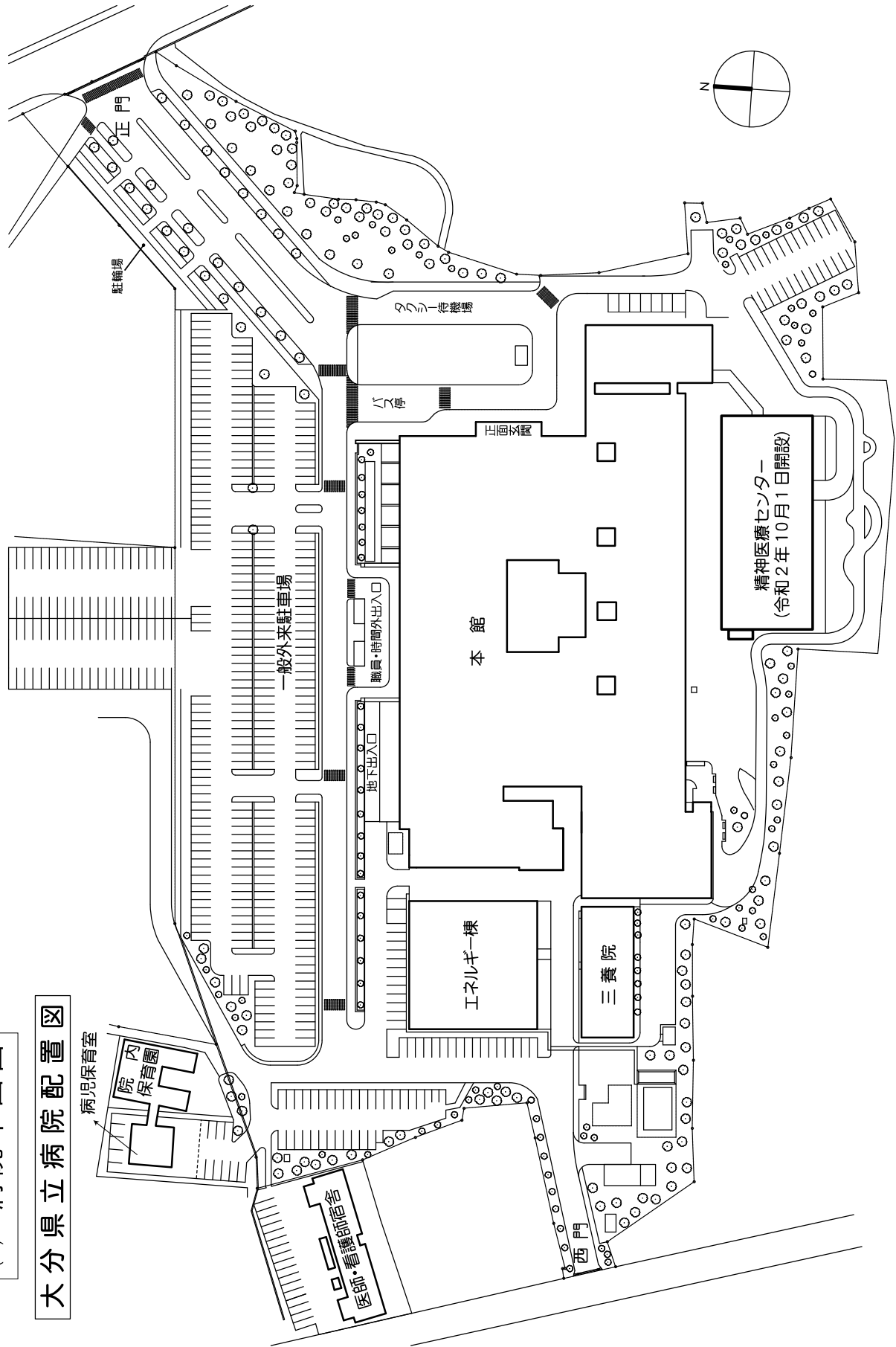
名称	構造	階	床面積 ㎡	用途	竣工年月日
医師看護師宿舎	R C 造	1	335.86	医師4室、看護師6室、ポンプ室、倉庫	H4.7.25
		2	326.86	医師4室、看護師6室	
		3	326.86	医師4室、看護師6室	
		4	326.86	医師4室、看護師6室	
		1	17.35	自転車置場	
計			1,333.79		

- 医師宿舎 所在地 大分市新春日町一丁目4番27号
 土地…………敷地面積 2,948.38㎡
 建物…………建築面積 1,073.61㎡ 延面積 2,752.64㎡

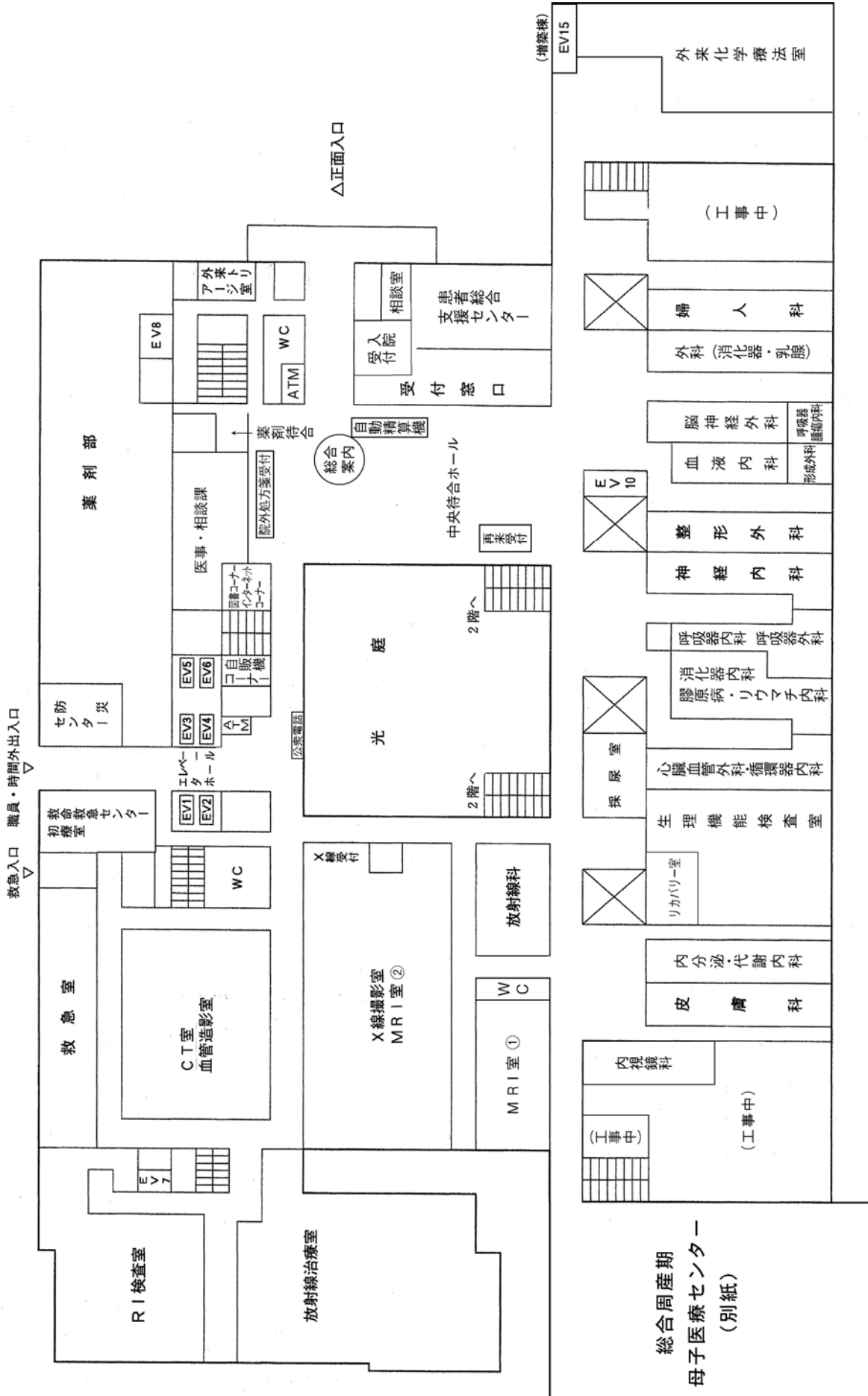
名称	構造	階	床面積 ㎡	用途	竣工年月日
医師宿舎	R C 造	1	566.55	医師6室	H7.8.18
		2	569.61	医師6室	
		3	569.61	医師6室	
		4	569.61	医師6室	
		1	477.26	倉庫、自転車置場、駐車場	
計			2,752.64		

(2) 病院平面図

大分県立病院配置図

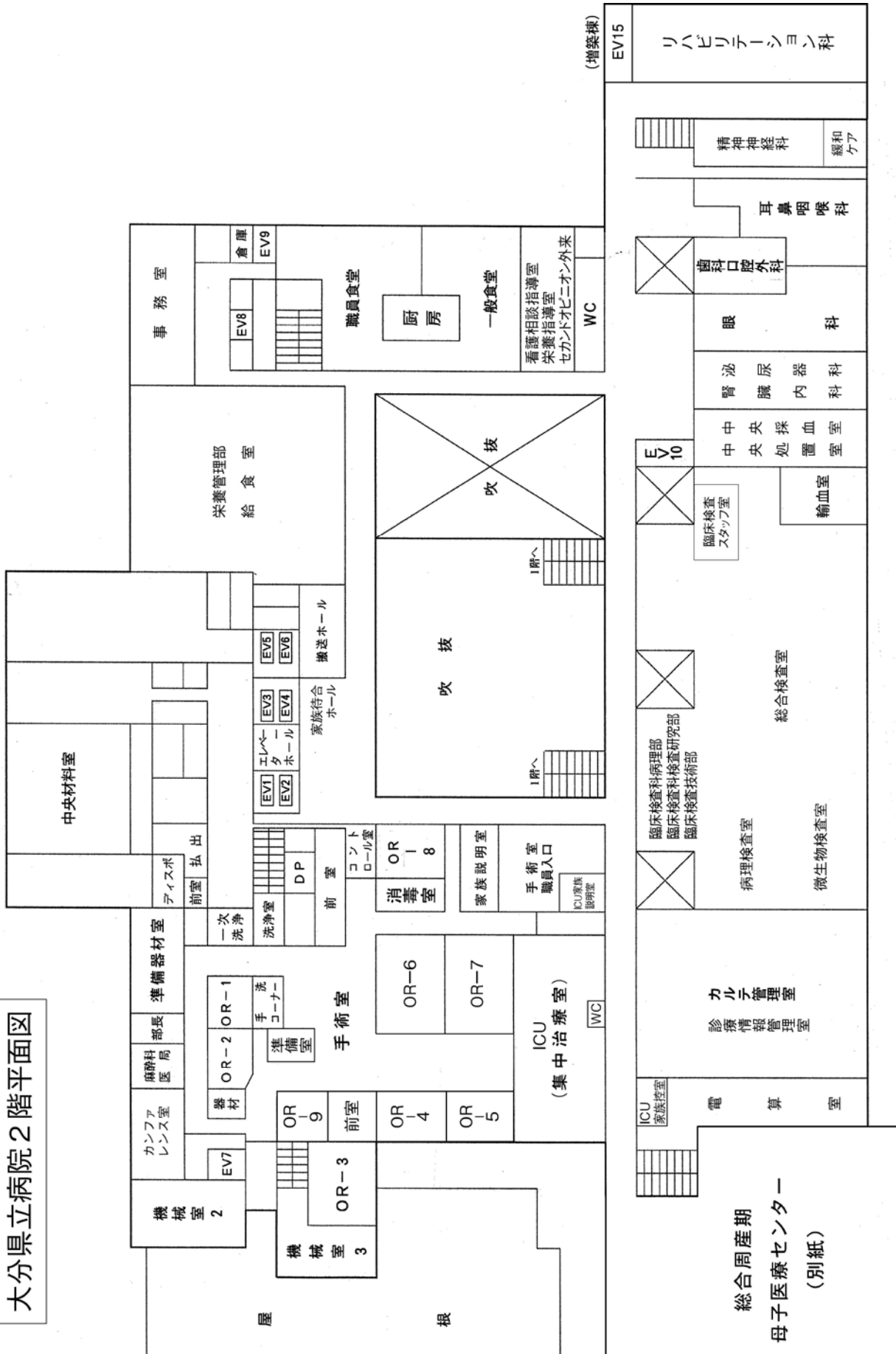


大分県立病院 1階平面図



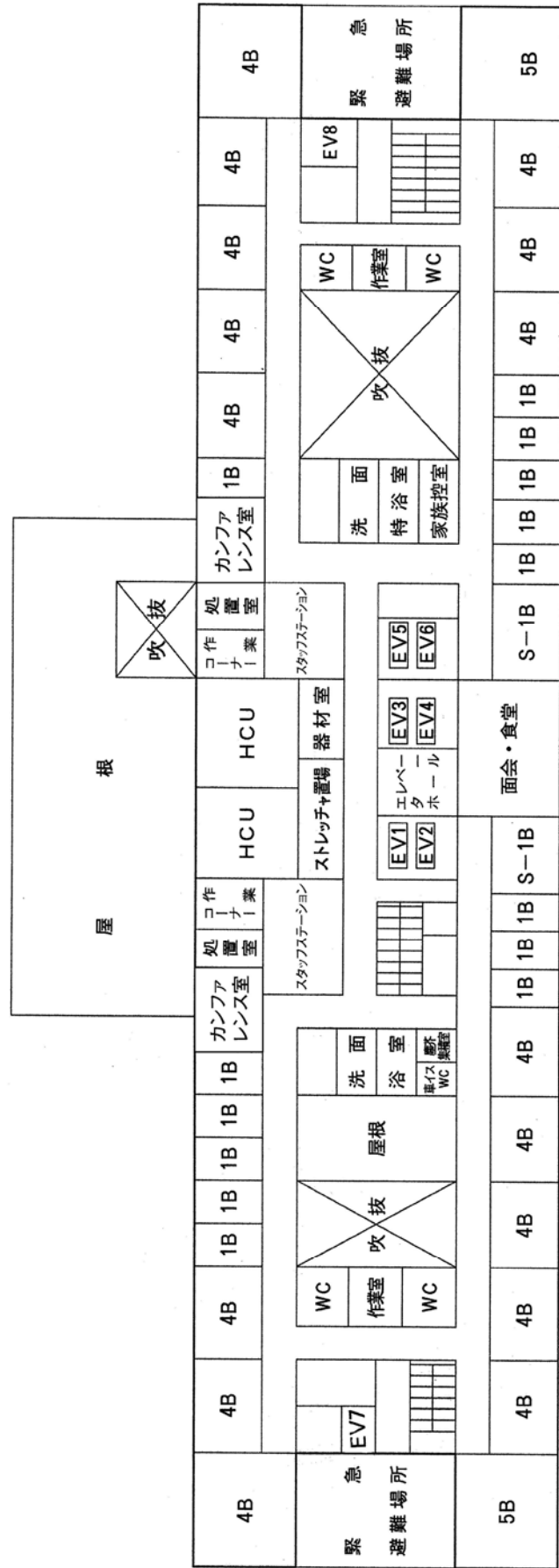
総合周産期
母子医療センター
(別紙)

大分県立病院2階平面図

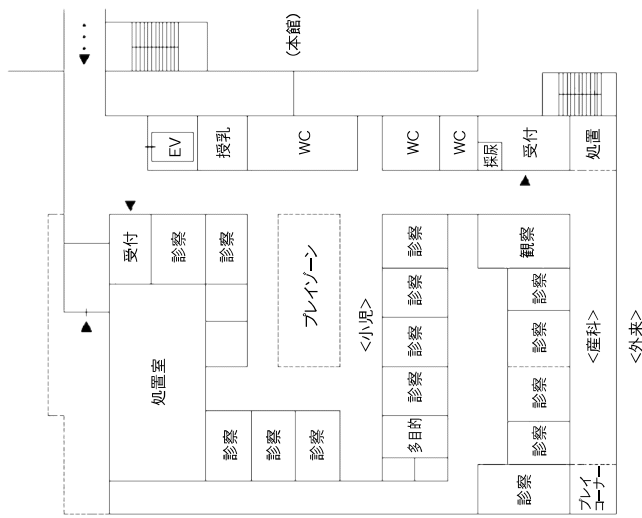


総合周産期
母子医療センター
(別紙)

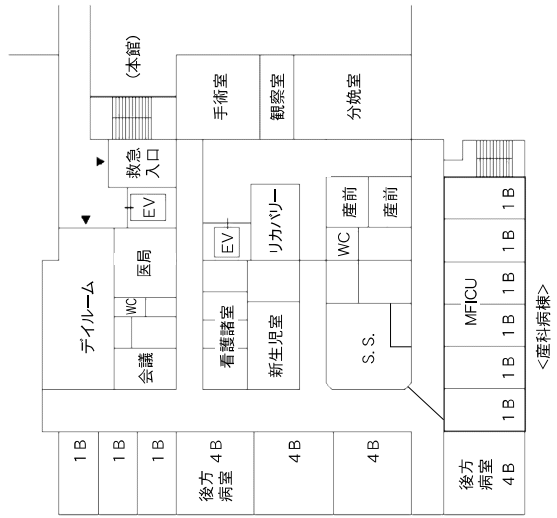
大分県立病院病棟平面図



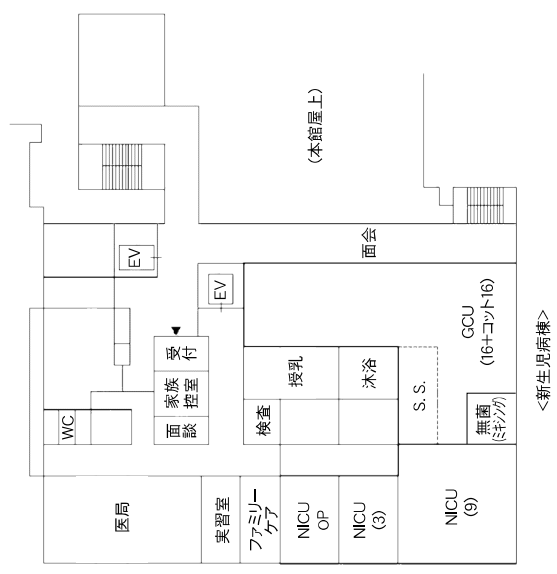
総合周産期母子医療センター平面図



1階



2階



3階

9 主要医療機器

(取得価格1,000万円以上)

令和2年4月1日現在

(単位：円)

	名 称	数量	取 得 年 月 日	取 得 価 格	設 置 場 所
1	カルテ管理システム (アクティブランナー)	1	平成4年3月25日	20,900,000	カルテ管理室
2	解 剖 台	1	平成5年10月30日	10,600,000	臨床検査技術部
3	術中生体情報監視システム	1	平成15年3月14日	11,755,700	手術室
4	レクセル定位脳手術支援システム	1	平成17年3月15日	15,900,000	手術室
5	レクセル定位脳手術支援システム	1	平成17年10月19日	22,500,000	手術室
6	レクセル定位脳手術支援システム	1	平成19年3月29日	19,000,000	手術室
7	乳房 X 線 撮 影 装 置	1	平成19年3月30日	45,000,000	放射線技術部
8	低温プラズマ滅菌装置	1	平成20年3月31日	12,660,000	中央材料室
9	超電導MRIシステム	1	平成20年4月1日	24,165,000	放射線技術部
10	手術顕微鏡 (眼科)	1	平成20年10月8日	18,000,000	手術室
11	バーチャルスライドシステム	1	平成21年3月31日	12,500,000	臨床検査科部
12	デジタル X 線テレビシステム	1	平成21年8月31日	40,000,000	放射線技術部
13	手術台 (手術室7番)	1	平成22年2月26日	13,460,000	手術室
14	白内障手術装置	1	平成22年3月19日	15,500,000	手術室
15	低温プラズマ滅菌装置	1	平成22年3月25日	12,000,000	中央材料室
16	内視鏡下手術用カメラシステム	1	平成22年3月31日	19,000,000	手術室
17	アドバンスト3D水ファントムシステム	1	平成22年3月31日	11,700,000	放射線技術部
18	心臓超音波診断装置	1	平成22年12月21日	23,000,000	臨床検査技術部
19	全身用X線コンピュータ断層撮影装置	1	平成23年1月28日	65,000,000	放射線技術部
20	超音波血流計	1	平成23年2月25日	10,000,000	手術室
21	超音波気管支内視鏡システム	1	平成23年3月4日	10,000,000	内視鏡科
22	X 線透視装置	1	平成23年10月28日	31,700,000	内視鏡科
23	超音波診断装置	1	平成23年12月26日	13,900,000	放射線技術部
24	汎用生化学分析装置	2	平成24年2月7日	51,681,400	臨床検査技術部
25	尿路結石粉碎装置システム	1	平成24年2月29日	16,500,000	手術室
26	超音波診断装置	1	平成24年3月5日	18,300,000	救急室
27	手術顕微鏡	1	平成24年3月16日	18,900,000	手術室
28	全身用MRI装置	1	平成24年3月26日	165,500,000	放射線技術部
29	総合血液学検査システム	1	平成24年9月18日	38,916,000	臨床検査技術部
30	高精度放射線治療システム (リニアック)	1	平成25年3月27日	330,000,000	放射線技術部
31	頭腹部血管造影装置	1	平成25年9月30日	70,000,000	放射線技術部
32	全自動細胞解析装置 (フローサイトメーター)	1	平成25年11月19日	14,990,000	臨床検査技術部
33	大動脈バルーンポンプ	1	平成25年11月27日	10,750,000	救急室
34	自動採血管準備装置	1	平成25年12月11日	13,800,000	臨床検査技術部
35	麻酔業務及び手術室・集中治療部門総合支援情報システム	1	平成26年3月31日	127,500,000	手術室
36	炭酸ガスレーザー婦人科セット	1	平成26年9月3日	10,000,000	手術室
37	臨床用ポリグラフシステム	1	平成26年9月21日	20,000,000	放射線技術部
38	脳機能モニタ	1	平成26年10月27日	10,000,000	N I C U

	名 称	数量	取得年月日	取得価格	設置場所
39	検体搬送システム	1	平成27年1月4日	72,500,000	臨床検査技術部
40	白内障・硝子体手術装置	1	平成27年3月6日	17,400,000	手術室
41	人工心肺システム	1	平成27年3月27日	55,032,000	手術室
42	心臓・血管超音波診断装置	1	平成27年3月27日	20,000,000	臨床検査技術部
43	核医学診断装置（R I）	1	平成28年1月29日	185,100,000	放射線技術部
44	生体情報モニター	1	平成28年2月12日	17,900,000	4階西病棟
45	泌尿器科ビデオスコープシステム	1	平成28年6月24日	10,600,000	泌尿器科
46	脳神経外科手術用顕微鏡一式	1	平成28年9月23日	48,000,000	脳神経外科
47	超音波診断装置（Voiuson E10）	1	平成28年11月1日	17,779,490	産科
48	心臓血管撮影装置	1	平成28年11月30日	138,500,000	X線撮影室血管造影室
49	新生児用モニター式	1	平成28年12月28日	86,000,000	新生児科
50	診断用画像モニター式	1	平成29年1月4日	17,120,000	情報システム管理室
51	内視鏡下手術システム（ストライカー）	1	平成29年10月27日	17,684,338	手術室
52	内視鏡下手術システム（オリンパス）	3	平成29年11月27日	62,500,000	手術室
53	微生物同定測定装置及び感受性測定装置	1	平成29年12月4日	29,000,000	臨床検査技術部
54	注射薬自動払出装置	1	平成29年12月16日	59,500,000	薬剤部
55	心臓超音波診断装置	1	平成30年2月6日	14,000,000	臨床検査技術部
56	周産期電子カルテシステム	1	平成30年3月30日	40,000,000	産科
57	遠心型血液成分分離装置	1	平成30年3月30日	13,000,000	MEセンター
58	ビデオスコープシステム	1	平成30年3月30日	11,800,000	泌尿器科
59	眼底三次元画像解析装置	1	平成30年8月7日	37,400,000	眼科
60	心臓血管超音波診断装置	1	平成30年8月8日	12,900,000	手術室
61	耳鼻咽喉ビデオスコープシステム	1	平成30年10月5日	12,000,000	耳鼻咽喉科
62	逆浸透精製水製造システム等一式	1	平成30年12月28日	17,000,000	人工透析室
63	マンモトームシステム	1	平成31年1月29日	13,852,000	放射線技術部
64	一般エックス線撮影デジタルシステム	7	平成31年3月8日	290,000,000	放射線技術部
65	内視鏡用超音波観測装置等一式	1	平成31年4月26日	13,020,000	内視鏡科
66	液状処理細胞診標本作成装置	1	令和1年8月6日	22,200,000	臨床検査技術部
67	採血・採尿業務支援システム	1	令和1年9月30日	38,900,000	中央採血室
68	人工呼吸器	4	令和2年1月31日	12,600,000	MEセンター
69	ウォッシャーディスプレイインフュクター	2	令和2年2月16日	10,050,000	中央材料室
70	開放型保育器	3	令和2年3月12日	10,200,000	新生児病棟
71	超音波診断装置	2	令和2年3月25日	14,900,000	消化器内科
72	エックス線コンピュータ断層撮影装置	2	令和2年3月27日	357,272,728	放射線技術部
73	抗癌剤無菌調整支援システム等一式	1	令和2年3月27日	13,000,000	薬剤部
74	患者監視装置	2	令和2年3月28日	45,000,000	救命救急センター 外来化学療法室
75	ファイバースコープ	6	令和2年3月28日	15,454,500	内視鏡科

※上記金額は消費税及び地方消費税抜き

10 業 務 概 要

(1) 許可病床数

区 分		年 度	令 和 2 年 度	
病 床		数	578 床	(518)
種 別	一 般 病 床		566 床	(506)
	感 染 症 病 床		12 床	(12)

※カッコ内は稼働病床

(2) 病棟別病床数

令和2年4月1日現在

病 棟	病 床 数	内 容
I C U	4	集中治療室
救命救急センター	12	ICU4、HCU8
4 階 西 病 棟	40	小児科、小児外科
5 階 東 病 棟	(6)	感染症病床
6 階 東 病 棟	45	耳鼻咽喉科、血液内科
6 階 西 病 棟	48	血液内科、脳神経外科、眼科、神経内科
7 階 東 病 棟	49	循環器内科、心臓血管外科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科
7 階 西 病 棟	50	外科（消化器外科）、泌尿器科
8 階 東 病 棟	48	消化器内科、神経内科
8 階 西 病 棟	50	整形外科、皮膚科、形成外科、神経内科
9 階 東 病 棟	50	婦人科、外科（消化器外科、乳腺外科）
9 階 西 病 棟	49	呼吸器内科、呼吸器外科、呼吸器腫瘍内科、外科（消化器外科、乳腺外科）、膠原病・リウマチ内科
総合周産期母子医療センター		
産 科 病 棟	25	母体・胎児集中治療室（MFICU）6、産科一般病床19
新 生 児 病 棟	36	新生児集中治療室（NICU）12、新生児回復病床24
三 養 院	(6)	感染症病床
計	506 (12)	

() は感染症病床数別掲

(3) 入院患者延数、新入院患者数、病床利用率、平均在院日数

区 分	病 床 数 (床)	入 院 患 者 延 数 (人)			新 入 院 患 者 数 (人)			病 床 利 用 率 (%)			平 均 在 院 日 数 (日)		
		一 般	感 染 症	合 計	一 般	感 染 症	合 計	一 般	感 染 症	合 計	一 般	感 染 症	合 計
平成29年度	520 (521)	157,637	—	157,637	12,392	—	12,392	85.0	—	83.0	11.7	—	11.7
平成30年度	515	158,531	—	158,531	12,633	—	12,633	86.1	—	84.1	11.6	—	11.6
令和元年度	515	160,080	97	160,177	13,633	8	13,641	87.0	0.0	85.0	10.7	12.1	10.7

※ () 4月～6月の病床数

(4) 診療科別入院患者延数

(単位：人)

年度	科名	循環器内科	内分泌・代謝内科	消化器内科	腎臓内科	膠原病・肉芽内科	呼吸器内科	呼吸器腫瘍内科	血液内科	神経内科	小児科	新生児科	外科(普外・乳腺)	整形外科	形成外科
平成29年度		7,855	2,687	10,290	2,762	1,515	8,671	2,688	13,780	9,600	8,227	9,217	20,487	9,196	2,114
平成30年度		6,192	2,669	12,055	3,761	1,451	9,533	4,001	12,879	11,244	7,656	9,891	19,109	8,832	2,101
令和元年度		8,022	3,146	11,154	3,322	1,357	9,688	4,526	12,695	11,299	8,567	10,116	18,579	10,970	453

	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	救急科	合計
	5,658	2,240	3,078	2,215	4,010	4,675	8,073	9,249	2,113	7,085	53	99	157,637
	3,907	2,767	2,437	2,241	3,711	4,469	8,654	9,272	2,074	7,567	11	47	158,531
	4,545	2,317	2,516	2,005	3,184	4,879	8,238	9,125	2,428	6,920	59	67	160,177

※救急科：院内規定に基づく登録利用

(5) 重症度、医療・看護必要度

(単位：%)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成29年度		28.4	29.3	32.0	32.3	33.8	34.1	29.3	33.6	33.6	33.0	31.4	31.4	31.9
平成30年度		34.7	33.6	35.7	33.9	34.2	34.8	35.0	36.8	36.3	33.1	34.7	32.3	34.6
令和元年度		33.3	33.7	33.8	32.2	35.3	35.8	33.9	35.0	35.5	34.6	32.6	34.8	34.2

(6) 外来患者延数、1日平均診療人数、新規外来患者数

年度	区分	外来患者延数	診療日数	1日平均診療人数	新患数	摘要
平成29年度		207,753	244	851.4	21,419	入院中外来を除く
平成30年度		207,180	244	849.1	21,244	
令和元年度		207,985	240	866.6	20,248	

(7) 診療科別外来患者延数

(単位：人)

年度	科名	循環器内科	内分泌・代謝内科	消化器内科	腎臓内科	膠原病・肉芽内科	呼吸器内科	呼吸器腫瘍内科	血液内科	神経内科	精神神経科	小児科	新生児科	外科(普外・乳腺)	整形外科	形成外科
平成29年度		5,085	18,796	14,271	4,313	3,241	10,655	1,800	13,140	11,949	4,648	9,970	4,770	15,548	6,826	2,529
平成30年度		4,825	17,264	13,927	4,349	3,645	11,330	2,415	12,410	11,795	4,649	10,491	4,958	15,625	6,812	2,454
令和元年度		5,499	18,486	13,196	4,628	3,896	11,980	2,655	11,194	12,189	5,095	11,153	4,430	15,556	7,887	1,786

	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	歯科口腔外科	救急科	その他	合計
	3,144	2,524	1,753	2,432	10,898	9,230	6,472	12,467	13,433	8,819	1	6,384	3	2,583	13	58	207,755
	2,914	2,589	1,710	2,603	10,933	8,961	6,292	12,904	12,828	8,511	41	6,993	6	2,889	11	46	207,180
	2,696	2,748	1,607	2,435	10,791	9,349	5,483	12,924	12,977	7,709	-	7,004	6	2,573	19	34	207,985

※その他は健康診断

(8) 地域別患者数 (令和元年度)

(単位：人)

市町村	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	県外	総数	
入院患者数	新入院 割合	9,402 68.9%	233 1.7%	57 0.4%	33 0.2%	773 5.7%	616 4.5%	244 1.8%	393 2.9%	58 0.4%	98 0.7%	100 0.7%	747 5.5%	357 2.6%	54 0.4%	39 0.3%	37 0.3%	66 0.5%	58 0.4%	276 2.0%	13,641 100.0%
外来患者数	新患 割合	15,153 74.8%	310 1.5%	96 0.5%	31 0.2%	652 3.2%	794 3.9%	283 1.4%	469 2.3%	75 0.4%	92 0.5%	135 0.7%	871 4.3%	542 2.7%	83 0.4%	3 0.0%	71 0.4%	86 0.4%	99 0.5%	403 2.0%	20,248 100.0%

(9) 紹介率・逆紹介率

年度	紹介率	逆紹介率
平成29年度	82.3%	118.0%
平成30年度	83.7%	125.3%
令和元年度	87.5%	138.3%

(10) 診療科別救急患者延数

(単位：人)

年度	循環器内科	内分泌代謝内科	消化器内科	腎臓科	膠原病・リウマチ内科	呼吸器内科	呼吸器腫瘍内科	血液科	神経内科	精神神経科	小児科	新生児科	外科(消外・乳腺)
平成29年度	503	88	741	208	14	759	9	117	604	9	990	221	221
平成30年度	416	64	839	49	-	676	-	80	602	5	934	214	179
令和元年度	476	83	798	60	18	739	25	99	638	11	1,159	212	199

整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	合計	うち救急車による搬送
640	239	361	48	42	54	382	241	517	118	256	349	101	7,832	2,621
621	249	324	53	30	40	360	229	436	138	211	272	72	7,093	2,303
739	169	309	70	33	53	470	278	458	130	234	314	94	7,868	2,529

(11) ドクターカー、カンガルー号(新生児)、患者搬送ヘリ、救急ワークステーション活動件数 (単位：件)

年度	ドクターカー	カンガルー号(新生児)	患者搬送ヘリ	救急ワークステーション(医師出動件数)
平成29年度	50	89	46	120
平成30年度	37	93	40	98
令和元年度	52	95	35	80

(12) 患者搬送ヘリ活動件数(内訳)

(単位：件)

年度	県病受入(搬入)	県病に搬入し他院へ救急車等で搬送	県病から患者搬送ヘリで他院へ搬送	合計
平成29年度	37	4	5	46
平成30年度	35	2	3	40
令和元年度	30	2	3	35

(13) 診療科別手術件数

(単位：件)

年度	科別 (消外・乳腺科)	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	歯科口腔外科	内科	合計
平成29年度	905	418	188	136	120	308	292	105	499	259	454	357	376	8	1	7	4,433
平成30年度	884	447	207	98	139	329	289	93	508	264	470	413	401	17	2	5	4,566
令和元年度	897	517	126	106	138	294	272	74	536	219	537	406	361	8	5	11	4,507

(14) 内視鏡件数

(単位：件)

年度	区分	胃内視鏡	大腸内視鏡	胃・食道瘻	E R C P	小腸内視鏡	気管支鏡	合計
平成29年度		2,623	1,416	54	155	24 (うちカプセル9)	233	4,505
平成30年度		2,670	1,425	72	252	50	238	4,707
令和元年度		2,716	1,368	57	185	24	223	4,573

○小腸内視鏡にカプセル内視鏡含む

(15) 人工透析件数

年度	患者数(人)			延件数(件)		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成29年度	232	20	252	2,315	1,597	3,912
平成30年度	254	14	268	2,265	1,330	3,595
令和元年度	249	17	266	1,959	1,305	3,264

(16) 薬剤部業務数

年度	区分	処方せん枚数				注射せん枚数				入院化学療法(件)	外来化学療法(件)	病棟業務		
		院内			院外	入院	外来	時間外 (入院・外来)	麻薬			指導人数	延べ件数	総点数
		入院	外来	時間外 (入院・外来)										
平成29年度		79,243	7,347	20,959	96,442	115,801	19,485	15,376	8,633	4,820	4,866	3,257	5,732	1,492,395
平成30年度		78,109	7,300	21,147	93,912	116,030	20,386	15,087	9,195	5,399	4,892	1,030	1,811	497,340
令和元年度		80,958	7,064	20,777	97,536	118,590	19,850	15,318	9,368	5,820	5,010	2,578	4,399	1,124,565

(17) 放射線技術部業務数

(単位：件)

年度	区分	一般・TV	CT検査	MRI検査	RI検査	血管造影	放射線治療	計
平成29年度		76,931	17,160	5,087	1,080	1,194	10,496	111,948
平成30年度		79,149	17,218	5,244	1,128	1,193	11,333	115,265
令和元年度		82,193	17,671	5,102	1,249	1,405	11,730	119,350

(18) 臨床検査技術部業務数

(単位：件)

年度	区分	生理機能検査	一般検査	血液検査	生化学検査	免疫検査	微生物検査	病理検査	輸血検査	合計
平成29年度		27,348	67,475	281,442	1,756,474	126,731	27,369	16,409	45,675	2,348,923
平成30年度		28,424	70,202	279,352	1,800,380	133,487	28,361	16,379	45,609	2,402,194
令和元年度		30,638	76,527	286,300	1,865,327	134,110	29,612	16,209	44,176	2,482,899

(19) 栄養指導件数

(単位：人)

年度	区分	個別指導											計	集団指導	合計	栄養相談	
		入院						外来									
		糖尿病	腎臓病	高血圧	高脂血	その他	小計	糖尿病	腎臓病	高血圧	高脂血	その他					小計
平成29年度		143	88	22	2	86	341	136	166	21	15	95	433	774	234	1,008	1,382
平成30年度		138	58	10	2	112	320	184	141	16	37	151	529	849	245	1,094	1,415
令和元年度		167	47	2	1	110	327	199	118	17	40	113	487	814	271	1,085	926

○集団指導は、糖尿病教室、母親学級、豊友会（糖尿病患者会）、おはなしカフェの合計数

(20) 患者給食数

(単位：人)

年度	区分	一般食	加算特別食	合計
平成29年度		95,531	27,839	123,370
平成30年度		97,119	25,429	122,548
令和元年度		95,114	28,171	123,285

(21) がんセンター業務数（がん登録開始件数）

(単位：件)

年度	区分	胃	結腸・直腸	肺	肝	乳	造血疾患	婦人科系	泌尿器系	皮膚	頭頸部	胸腺・胸膜	耳鼻科系	眼	脳・髄膜	その他の消化器系	軟部腫瘍	原発部位不明	合計
平成29年度		90	152	225	57	254	271	305	176	48	25	9	37	-	18	86	2	9	1,764
平成30年度		69	119	197	48	251	209	322	175	42	29	9	40	1	11	65	5	7	1,599
令和元年度		90	132	216	36	297	209	284	185	46	34	12	42	1	13	98	2	11	1,708

(22) 総合周産期母子医療センター業務数

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	入院患者数（うち緊急）	85(45)	88(39)	90(43)	92(46)	106(52)	85(38)	86(45)	88(41)	93(46)	77(37)	77(42)	82(43)	1,049(517)
	産科（うち緊急）	59(26)	58(26)	58(25)	66(30)	57(27)	54(26)	54(31)	58(22)	55(21)	54(23)	44(22)	50(22)	667(301)
	新生児科（うち緊急）	26(19)	30(13)	32(18)	26(16)	49(25)	31(12)	32(14)	30(19)	38(25)	23(14)	33(20)	32(21)	382(216)
	分娩数（出生児数）	62	55	49	48	61	51	47	50	55	48	39	47	612
	極低出生体重児数	2	4	2	7	5	4	5	6	3	1	2	3	44
	カンガルー号出勤数（件）	8	3	7	7	12	4	10	8	6	6	8	10	89
平成30年度	入院患者数（うち緊急）	91(47)	87(28)	73(39)	73(42)	107(58)	95(53)	85(38)	84(45)	85(41)	79(37)	76(36)	76(38)	1,011(502)
	産科（うち緊急）	54(25)	52(16)	45(20)	45(24)	64(29)	61(28)	55(17)	53(27)	59(26)	51(25)	45(19)	44(22)	628(278)
	新生児科（うち緊急）	37(22)	35(12)	28(19)	28(18)	43(29)	34(25)	30(21)	31(18)	26(15)	28(12)	31(17)	32(16)	383(224)
	分娩数（出生児数）	48	52	35	31	61	59	43	52	51	44	42	44	562
	極低出生体重児数	2	2	1	2	1	3	5	4	5	1	2	6	34
	カンガルー号出勤数（件）	11	2	10	10	10	9	8	11	6	4	7	5	93
令和元年度	入院患者数（うち緊急）	82(31)	67(32)	76(46)	73(35)	92(52)	85(30)	75(25)	80(40)	84(39)	101(47)	86(40)	80(39)	981(456)
	産科（うち緊急）	50(18)	45(19)	51(27)	41(16)	61(33)	48(17)	42(15)	52(22)	49(19)	54(25)	53(22)	44(20)	590(253)
	新生児科（うち緊急）	32(13)	22(13)	25(19)	32(19)	31(19)	37(13)	33(10)	28(18)	35(20)	47(22)	33(18)	36(19)	391(203)
	分娩数（出生児数）	45	44	37	46	54	49	43	42	37	57	44	46	544
	極低出生体重児数	8	1	3	2	3	2	3	6	-	2	2	2	34
	カンガルー号出勤数（件）	8	5	8	8	8	8	6	8	11	8	7	10	95

(23) 救命救急センター業務数（救急外来から入院した人数）

（単位：人）

年度		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	救命救急センター		57	59	64	53	57	52	53	55	58	70	60	56	694
	その他		164	174	149	192	173	173	173	154	207	181	184	167	2,091
	合計		221	233	213	245	230	225	226	209	265	251	244	223	2,785
平成30年度	救命救急センター		61	47	45	51	57	53	45	58	55	58	47	61	638
	その他		174	154	163	188	202	209	166	165	199	188	151	186	2,145
	合計		235	201	208	239	259	262	211	223	254	246	198	247	2,783
令和元年度	救命救急センター		48	58	56	60	48	48	53	53	67	49	55	45	640
	その他		204	180	186	186	209	167	151	171	144	203	184	149	2,134
	合計		252	238	242	246	257	215	204	224	211	252	239	194	2,774

(24) 循環器センター業務数

（単位：件）

年度	区分	心臓カテーテル検査	PCI（経皮的冠動脈形成術）
平成29年度		673	261
平成30年度		673	297
令和元年度		928	398

(25) DPC/PDPS 医療機関別係数＜機能評価係数Ⅱ＞

DPC/PDPS：「診断群分類」に基づく包括評価支払い方式

機能評価係数Ⅱ：診療実績や医療の質的向上への貢献等に基づき、医療機関が担うべき役割や機能を評価する係数

■機能評価係数Ⅱの内訳

（4/1時点）

年度	区分	保険診療係数	効率性係数	複雑性係数	カバー係数	地域医療係数	救急医療係数	後発医薬品係数	重症度指数	合計
平成29年度		0.01617	0.01805	0.02116	0.02924	0.03201	0.00682	-	-	0.1235
平成30年度		0.01605	0.01651	0.02100	0.02916	0.03245	0.00662	-	-	0.1218
令和元年度		0.01575	0.01826	0.01802	0.02923	0.02564	0.00702	-	-	0.1139

- ・ 保険診療係数 …… 質が遵守された DPC データの提出を含めた適正な保険診療実績・取組を評価（詳細な診療データの作成及び正確性）
- ・ 効率性係数 …… 在院日数短縮の努力を評価
- ・ 複雑性係数 …… 患者構成の差を 1 入院あたり点数で評価（診療の複雑さ）
- ・ カバー係数 …… 様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価（DPC の種類の多さ）
- ・ 地域医療係数 …… 地域医療への貢献に係る体制を評価
- ・ 救急医療係数 …… 救急医療の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価（DPC では評価が困難な救急入院初期の検査等）
- ・ 後発医薬品係数 …… 後発医薬品の使用割合による評価（数量ベース）
- ・ 重症度指数 …… 診断群分類点数表で表現しきれない患者の重症度の乖離率を評価

11 令和2年度予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入				支 出			
款	項	目	予 定 額	款	項	目	予 定 額
病院事業収			千円 18,869,391	病院事業費			千円 18,780,239
	医業収益		17,163,390		医業費用		18,280,418
		入院収益	11,365,472			給与費	8,406,878
		外来収益	5,623,672			材料費	6,084,100
		その他 医業収益	174,246			経費	2,556,531
	医業外収		1,472,732			減価償却費	1,111,830
		受取利息 配当金	1,368			資産減耗費	21,532
		他会計 補助金	101,637			研究研修費	99,547
		補助金	21,111		医業外用		93,899
		負担金 交付金	708,330			支払利息及び 企業債取扱諸費	50,617
		長期前受金 戻入	293,587			長期前払 消費税額償却	23,032
		資本費繰入 収益	219,300			消費税及び 地方消費税	18,750
		その他 医業外収益	127,399			雑損失	1,500
	特別利益		233,269		特別損失		405,922
		過年度損益 修正益	500			過年度損益 修正損	67,725
		その他 特別利益	232,769			その他 特別損失	338,197

※上記の金額は消費税及び地方消費税込み。

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			千円 1,185,179	
	企 業 債		738,000	
		企 業 債	738,000	
	負 担 金		404,086	
		他 会 計 負 担 金	404,086	
	補 助 金		43,093	
		他 会 計 補 助 金	43,093	

支 出

款	項	目	金 額	備 考
資 本 的 支 出			千円 2,204,136	
	建 設 改 良 費		1,194,139	
		資 産 購 入 費	656,093	
		改 築 事 業 費	538,046	
	企 業 債 償 還 金		1,003,314	
		企 業 債 償 還 金	1,003,314	
	他 会 計 か ら の 借 入 金 償 還 金		6,683	
		他 会 計 か ら の 借 入 金 償 還 金	6,683	

※上記の金額は消費税及び地方消費税込み。

12 令和元年度決算報告

収益的収入及び支出

収 入				支 出				
款	項	目	金 額	款	項	目	金 額	
病院事業	収 益		千円 18,015,079	病院事業	費 用		千円 17,373,850	
	医業	収 益	16,695,854		医業	費 用	16,504,980	
		入院	収 益 11,207,162			給 与 費	7,720,130	
		外来	収 益 5,328,227			材 料 費	5,441,231	
		その他	医業	収 益 160,465		経 費	2,240,620	
	医業	外 益	1,199,589			減価償却費	1,013,631	
		受取利息	配 当 金 1,596			資産減耗費	11,181	
		他会計	補 助 金 58,199			研究研修費	78,187	
		補助	金 23,365		医業	外 用	857,969	
		負担金	交 付 金 474,911			支払利息及び	企業債取扱諸費 66,766	
		長期前受	戻 入 253,675			長期前払	消費税額償却 13,167	
		資本費繰	入 益 211,375			雑 損 失	778,036	
		その他	医業外	収 益 176,468				
	特別	利 益	119,636		特別	損 失	10,901	
		過年度損	益 修 正 益 96,729			固定資産	売 却 損 1,900	
		長期前受	戻 入 22,907			過年度損	益 修 正 損 399	
						その他	特別	損 失 8,602
					収 益 的 収 支		641,229	

※上記の金額は消費税及び地方消費税抜き。

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	金 額	備 考
資本的収入			千円 3,455,430	
	企 業 債		2,587,000	
		企 業 債	2,587,000	
	負 担 金		330,139	
		他会計負担金	330,139	
	補 助 金		538,291	
		他会計補助金	538,291	

支 出

款	項	目	金 額	備 考
資本的支出			千円 4,405,926	
	建 設 改 良 費		3,561,286	
		資 産 購 入 費	815,551	
		改 築 事 業 費	2,745,735	
	企 業 債 償 還 金		837,960	
		企 業 債 償 還 金	837,960	
	他会計からの 借入金償還金		6,680	
		他会計からの 借入金償還金	6,680	

※上記の金額は消費税及び地方消費税込み。

13 令和元年度の経営状況

1. 収益的収支

総収益180億1,507万9,238円（対前年比5.6%増）に対して、総費用は173億7,384万9,961円（対前年比5.1%増）を計上しました。

この内訳としては、医業収益は166億9,585万3,688円（対前年比5.8%増）、医業費用は165億497万9,664円（対前年比6.2%増）となり、差引1億9,087万4,024円の医業利益を生じました。

一方、負担金交付金等の医業外収益は、11億9,958万9,415円（対前年比4.9%減）で、企業債利息等の医業外費用は8億5,796万9,005円（対前年比18.8%増）となり、経常利益は5億3,249万4,434円となりました。

また、特別利益は1億1,963万6,135円（対前年比562.6%増）、特別損失は1,090万1,292円（対前年比95.9%減）を計上しています。

今年度は6億4,122万9,277円の純利益を計上し、繰越利益剰余金を含めた当年度未処分利益剰余金としては、33億2,993万9,703円となっています。

2. 資本的収支

収入額は、企業債25億8,700万円、他会計負担金3億3,013万9,000円及び補助金5億3,829万1,150円で合計34億5,543万150円となっています。

支出額は、大規模改修工事及び精神医療センター新築工事などの改築事業費27億4,573万4,370円、エックス線コンピュータ断層撮影装置などの資産購入費8億1,555万1,054円及び企業債償還金等8億4,464万93円で、合計44億592万5,517円となっています。

14 病院事業会計 決算の推移 (過去5ヶ年)

款	項	目	27年度		28年度		29年度		30年度		元年度	
			金額	前年対比	金額	前年対比	金額	前年対比	金額	前年対比	金額	前年対比
病院事業収益			15,598,253,313	103.3	16,016,486,120	102.7	16,968,649,912	105.9	17,063,340,055	100.6	18,015,079,238	105.6
	医業収益		13,940,101,427	105.5	14,709,930,180	104.5	15,682,255,607	106.6	15,784,189,408	100.6	16,695,853,688	105.8
	入院収益		9,776,988,679	102.8	10,222,086,316	105.4	10,573,232,136	103.4	10,632,026,383	100.6	11,207,162,258	105.4
	外来収益		4,003,433,586	112.5	4,321,396,913	107.9	4,941,314,409	114.3	4,988,037,142	100.9	5,328,226,615	106.8
	その他医業収益		159,679,162	106.9	166,446,951	104.2	167,709,062	100.8	164,125,883	97.9	160,464,815	97.8
	医業外収益		1,524,562,819	95.3	1,288,867,402	84.5	1,264,061,690	98.1	1,261,095,170	99.8	1,199,589,415	95.1
	受取利息配当金		2,335,164	155.4	2,286,619	97.9	1,730,139	75.7	2,528,366	146.1	1,595,612	63.1
	他会計補助金		56,561,000	104.1	55,460,000	98.1	56,821,000	102.5	58,232,000	102.5	58,199,000	99.9
	補助金		30,467,643	78.1	23,259,688	76.3	20,515,577	88.2	21,074,562	102.7	23,364,969	110.9
	負担金交付金		744,294,281	98.7	560,564,427	75.3	517,508,000	92.3	472,877,750	91.4	474,911,000	100.4
	長期前受金戻入		301,310,933	92.8	283,932,878	94.2	280,149,069	98.7	326,731,512	116.6	253,675,413	77.6
	資本費繰入収益		201,875,000	85.5	189,500,000	93.9	164,500,000	86.8	166,375,000	101.1	211,375,000	127.0
	その他医業外収益		187,718,798	99.1	173,863,790	92.6	222,837,905	128.2	213,275,980	95.7	176,468,421	82.7
	特別利益		133,589,067	46.4	17,688,538	13.2	22,332,615	126.3	18,055,477	80.8	119,636,135	662.6
	固定資産売却益								7,840			
	過年度損益修正益		718,576		639,210		4,887,082		200,128		96,729,216	
	長期前受金戻入		132,870,491		17,049,328		17,445,533		17,847,509		22,906,919	

款	項	目	27年度		28年度		29年度		30年度		元年度	
			金額	前年対比	金額	前年対比	金額	前年対比	金額	前年対比	金額	前年対比
病院事業費用			14,784,394,491	80.9	15,335,376,598	103.7	16,113,426,313	105.1	16,528,520,437	102.6	17,373,849,961	105.1
	医業費用		14,033,350,546	102.9	14,542,061,464	103.6	15,396,325,653	105.9	15,538,146,785	100.9	16,504,979,664	106.2
	給与		6,996,232,571	101.0	7,246,262,459	103.6	7,267,161,929	100.3	7,458,389,934	102.6	7,720,129,657	103.5
	材料		4,190,272,028	109.1	4,541,010,733	108.4	5,170,827,943	113.9	5,061,190,596	97.9	5,441,230,624	107.5
	経費		1,866,755,084	98.6	1,842,551,299	98.7	1,908,977,622	103.6	2,002,903,901	104.9	2,240,620,153	111.9
	減価償却費		904,937,835	99.3	739,741,088	81.7	941,998,379	127.3	925,862,213	98.3	1,013,631,404	109.5
	資産減耗費		13,957,903	141.0	104,252,401	746.9	33,378,035	32.0	16,474,109	49.4	11,180,485	67.9
	研究費		61,195,125	98.5	68,243,484	111.5	73,981,745	108.4	73,326,032	99.1	78,187,341	106.6
	医業外費用		695,664,624	99.5	792,676,201	113.9	716,411,506	90.4	722,271,723	100.8	857,969,005	118.8
	支払利息及び企業債取崩費		154,843,850	84.1	131,778,661	85.1	109,998,850	83.5	88,722,866	80.7	66,765,552	75.3
	長期前払消費税償却		3,586,750	100.0	3,586,750	100.0	4,743,070	132.2	8,802,343	185.6	13,167,161	149.6
	雑損		537,234,024	105.0	657,310,790	122.4	601,669,586	91.5	624,746,514	103.8	778,036,292	124.5
	特別損失		55,379,321	1.4	638,933	1.2	689,154	107.9	268,101,929	38,903.1	10,901,292	4.1
	固定資産売却損								2,546,488		1,900,000	
	過年度損益修正損								4,089,350		398,852	
	その他特別損失								261,466,091		8,602,440	
	当年度純利益(純損失△)		813,858,822	円	681,109,522	円	855,223,599	円	534,819,618	円	641,229,277	円
	繰延利益剰余金年度末残高(欠損金△)		△196,301,135	円	617,557,687	円	1,298,667,209	円	2,153,890,808	円	2,688,710,426	円
	その他未処分利益剰余金変動額											
	当年度未処分利益剰余金(欠損金△)		617,557,687	円	1,298,667,209	円	2,153,890,808	円	2,688,710,426	円	3,329,939,703	円

※ 上記の数値は消費税及び地方消費税抜き。

15 令和2年度院内定例会議

会議名	構成	会議開催
管理会議	院長 副院長 がんセンター所長 総合周産期母子医療センター所長 救命救急センター所長 循環器センター所長 事務局長 臨床検査科部長 医局長 看護部長 薬剤部長 放射線技術部長 臨床検査技術部長 栄養管理部長 総務経営課長 会計管理課長 医事・相談課長 総務企画監	毎週月曜日 16:00 病院の管理運営の基本方針・事項について 審議・議決
部長会議	院長 副院長 事務局長 診療科部長 薬剤部長 放射線技術部長 臨床検査技術部長 栄養管理部長 看護部長 看護部副部長 総務経営課長 会計管理課長 医事・相談課長 総務企画監	毎月第3又は第4木曜日 16:30 病院運営上の重要な事項について協議

16 令和2年度院内各種委員会

委員会名	所掌事項
医療安全管理	(1)医療事故等の原因分析並びに事故予防策の検討に関する事 (2)医療事故等の防止対策の検討及び研究に関する事 (3)医療事故等の分析及び再発防止策の検討に関する事 (4)医療事故等の防止のために行う職員に対する指示に関する事 (5)医療事故等の防止のために行う院長に対する提言に関する事 (6)医療事故等の防止のための啓発、教育に関する事
医療ガス安全管理小委員会	(1)別に定める医療ガスの保守点検指針に基づき保守点検業務を実施すること (2)毎年度当初に保守点検業務及び施工監理業務の実施責任者を選任すること (3)医療ガス設備に係る新設及び増設工事、部分改造、修理にあたって臨床各部門に、その旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験、検査を行い、安全を確認すること (4)医療ガスの安全管理に関する研修を実施することにより、医療ガスに係る安全管理に関する知識の普及及び啓発に努めること。 (5)その他医療ガスに関する事
感染防止対策	(1)院内感染防止について研究協議を行うこと (2)感染症対策に関する事
薬事	(1)医薬品の安全性及び副作用に関する事 (2)医薬品の使用及び経済性に関する事 (3)在庫薬品の効率的使用に関する事 (4)医薬品の採用及び調達に関する事 (5)その他薬品の管理上必要な事項に関する事
治験審査	(1)治験を実施することの倫理的、科学的及び医学的・薬学的観点からの妥当性に関する事 (2)治験実施中又は終了時に行う調査・審議事項に関する事 (3)その他、治験審査委員会が求める事項に関する事
防災危機管理	(1)大分県地域防災計画に関する事 (2)大分県立病院消防計画に関する事 (3)上記(1)及び(2)に定める以外の大分県立病院内で発生した危機的事態の対応に関する事 (4)災害拠点病院としての対応に関する事 (5)その他、防災危機管理に関する事
情報管理	
診療情報管理部	(1)診療録の監査に関する事 (2)病歴の作業に関する事 (3)その他院内の情報管理に関する事
個人情報管理部	病院全体の個人情報の管理に関する事
情報システム部	(1)情報システムの管理、運用に関する事 (2)関係規定の制定、改廃に関する事 (3)前各号に掲げるもののほか、部会長が必要と認める事項に関する事
研究倫理	医学の進歩に貢献する研究の実施や研究の実施に伴う倫理的問題について倫理的、科学的観点から調査・審議すること
臨床倫理	医療者の倫理についての審議を要する医療行為等について、倫理的、科学的観点から調査・審議すること
保険診療	(1)保険診療の適正化に関する事 (2)保険診療の請求に関する事 (3)その他保険診療に関する事

委員会名	所掌事項
医療材料 (医療器材サプライ部会)	(1)医療材料の必要性と安全性に関すること (2)医療材料の有効性と経済性に関すること (3)医療材料の採用に関すること (4)医療材料の名称の統一に関すること (5)その他医療材料の管理上必要な事項に関すること
手術・中材部運営	大分県立病院における手術室並びに中央材料室の運営に関すること
ICU運営	大分県立病院におけるICUの運営に関すること
医療機器等 整備・選定	(1)各診療科、部長等から購入希望のあった医療機器等のうち、当該年度に購入する機器（10万円以上のもの）の決定に関すること (2)前号で購入決定された医療機器のうち、1件の購入予定金額及び複数の同一品目の購入予定金額の合計が500万円以上（税抜き）のものに係る機種の検討及び選定に関すること (3)前2号の規定に関わらず、修理不能や治療上不可欠等により院長が必要と認めて緊急に購入した医療機器の承認に関すること (4)高額医療機器の導入についての年次計画の策定及び計画の見直しに関すること (5)医療機器等の適正かつ効率的な配置を図るために必要な事項に関すること
広報図書	
広報部会	(1)大分県立病院ホームページの管理に関すること (2)大分県病ニュースの発行に関すること (3)その他広報に関すること
図書室運営部会	(1)図書室の整備・運営に関すること (2)大分県立病院医学雑誌の管理に関すること (3)その他研究活動の充実に関すること
健康教室運営部	(1)健康教室の運営に関すること (2)その他健康教室の運営の充実に関すること
臨床検査運営	(1)臨床検査部の適正な運営に関すること (2)試薬及び機器（「薬事委員会」及び「医療機器等整備・選定委員会」の審議の対象を除く。）の決定に関すること (3)精度管理に関すること (4)その他臨床検査に関すること
輸血療法	(1)血液法（平成14年法律第96号）に基づき、輸血療法の適応と血液製剤の選択、及び輸血実施時の手続きの周知と徹底に関すること (2)輸血療法に伴う事故、副作用、合併症の把握と対策に関すること (3)院内採血基準と自己血輸血の運用に関すること (4)輸血用血液製剤及びアルブミン製剤の管理に関すること (5)輸血療法監査委員会の監査結果を討議して、適正輸血の推進を図ること (6)その他、輸血療法の適正化に関すること
救急運営	(1)救急医療のあり方に関すること（当直業務及び日勤帯の救急受入れなどに関することを含む） (2)救急医療の現状のモニター、問題点・問題となった事例や投書に対する改善策の検討及び救急当直マニュアル等関係規程の改正に関すること (3)前号に掲げる事項のほか、救急医療の実施に関して必要な事項に関すること

委員会名	所掌事項
放射線安全	(1)放射性同位元素及び放射線発生装置の使用に係る安全管理の基本方針に関する こと (2)放射線施設環境の管理に関すること (3)放射線施設内の労働環境の管理に関すること (4)放射性同位元素及び放射線発生装置の管理に関すること (5)放射線施設及び放射線発生装置の新設、改廃並びに放射性同位元素使用核種数 量の増加等に関すること (6)医療法（昭和23年法律第205号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）及び 各法令に基づく放射線の管理及び放射線障害の防止に関すること (7)その他放射線障害防止について必要な事項に関すること
地域医療連携	(1)地域医療機関等との医療連携の推進に関すること (2)地域医療支援病院の継続に向けた取り組みに関すること
クリティカルパス	(1)電子カルテに掲載する際の審査に関すること (2)クリティカルパスの内容の充実、改善及び見直しに関すること (3)その他クリティカルパスに関すること
患者サービス向上	(1)患者サービスの向上及び改善の推進に関すること (2)患者サービスの基本方針及び行動計画の策定に関すること (3)患者サービスの取組、検討及び立案に関すること (4)患者サービスの職員並びに病院関係者に対する周知に関すること (5)その他、患者サービスに関すること
がん登録	(1)院内がん登録運用に関すること (2)院内がん登録運用に関する関連部署との調整に関すること (3)院内がん登録集計・分析、院内がん登録情報の利用状況等の運営会議への報告 に関すること (4)院内がん登録室の設置、ならびに院内がん登録の運用・管理に関すること
診断群分類の コーディング	(1)診断群分類の適切なコーディングの総括に関すること (2)標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること (3)適切な診断を含めた診断群分類の決定に関すること (4)データチェックにより判明した不適切なコーディングを防止するための対策に 関すること (5)再入院率の上昇、アップコーディング等に対する対策に関すること (6)「DPC導入の影響評価に係る調査」で指摘されたエラーデータ等の対策に関す ること (7)その他診断群分類の適切なコーディングに関し必要と認められる事項に関する こと
がん化学療法 法 運 営	(1)がん化学療法レジメンの審査、登録に関すること (2)がん化学療法の支持療法の検討に関すること (3)院内で発生したがん化学療法に関するインシデント・アクシデントで、全体で 共有あるいは対応した方がよいことの検討に関すること (4)外来化学療法室の運営に関すること (5)がん化学療法に使用する診療材料の検討に関すること (6)患者用説明資材に関すること (7)がん化学療法関連マニュアルの作成や改定に関すること (8)がん医療を考える会など医療スタッフ教育に関すること (9)電子カルテの化学療法レジメン機能の検討に関すること

委員会名	所掌事項
栄養管理	(1)栄養管理に関すること (2)給食の調査・改善に関すること (3)衛生管理に関すること (4)栄養指導に関すること (5)検食に関すること (6)その他給食の改善・向上に必要な事項に関すること
NST運営 (栄養サポートチーム運営)	(1)患者の栄養障害の評価及び栄養療法についての提言に関すること (2)患者の摂食・嚥下障害の評価及び摂食・嚥下訓練についての提言に関すること (3)NST介入患者に対するカンファレンス及び回診の実施に関すること (4)栄養管理に使用する資材の適切な選択に関すること (5)勉強会・研修会の開催に関すること (6)その他NST活動の推進に関すること
褥瘡対策	(1)褥瘡・医療関連機器圧迫創症・皮膚損傷の発生状況および予防に関すること (2)褥瘡・医療関連機器圧迫創症・皮膚損傷に合併する感染症発生状況の把握および指導に関すること (3)褥瘡・医療関連機器圧迫創症・皮膚損傷予防および治療に関わる情報の周知に関すること (4)その他褥瘡・医療関連機器圧迫創症・皮膚損傷および合併する感染対策についての重要事項に関すること (5)褥瘡対策チームに関すること
脳死判定	(1)脳死判定に関する要領、脳死判定手順・手続きに関すること (2)脳死判定に関する教育・研修に関すること (3)その他脳死判定及び臓器の提供に関すること
臓器移植	(1)臓器提供に係る院内マニュアルに関すること (2)臓器提供に関する院内説明会、研修会及びシミュレーションに関すること (3)臓器移植の知識及び情報の普及啓発に関すること (4)その他臓器提供の手続き及び臓器提供体制の整備に関すること
厚生	(1)院内球技大会等の開催に関すること (2)院内忘年懇親会の開催に関すること (3)その他、院内職員の親睦及び心身の元気回復に関すること
総合的教育研修	(1)総合的計画の策定に関すること (2)総合医学会の実施に関すること (3)医師臨床研修・卒前教育及び職員の教育研修に関すること (4)県内医療従事者の教育・研修に関すること (5)一般県民の啓発に関すること (6)前号に掲げる事項のほか、教育研修の推進に関すること
研修管理	(1)研修プログラムの管理に関すること (2)研修医の管理に関すること (3)研修医の研修状況の評価に関すること (4)採用時における研修希望者の評価に関すること (5)その他卒後臨床研修に関すること
外来運営	(1)病院内の外来における円滑な診療業務を実施するための調査研究を行うこと (2)病院内の外来における各診療科の連絡調整を行い業務の改善及び患者サービスの向上を図ること (3)病院内の外来における診療業務の標準化を図ること (4)その他外来における診療業務の調整及び運営に関すること

委員会名	所掌事項
MEセンター運営	(1)MEセンターの運営に関すること (2)生命維持管理装置等の適切な管理に関すること
血液浄化療法 (透析機器安全管理)	(1)人工透析室の運営に関すること (2)透析液製造における安全対策に関すること (3)関連学会の基準に基づいた透析液の品質管理に関すること (4)水処理装置等の透析関連機器の管理計画の策定とその実行に関すること (5)院内における血液浄化に関すること
TQM実行	(1)業務改善活動の運営管理に関すること (2)業務改善活動における手順、方法等の相談窓口に関すること (3)業務改善活動の定着化に向けた啓発に関すること (4)前号に掲げる事項のほか、業務改善活動の推進に関すること
医師・看護職員負担軽減推進	(1)医師・看護職員の負担軽減推進計画の策定に関すること (2)医師・看護職員の負担軽減推進策の実施に関すること (3)医師・看護職員の負担軽減の実績評価に関すること
衛生	(1)労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること (2)労働者の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること (3)労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関すること (4)前三号に掲げるもののほか、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関すること

常設しない特別な委員会

委員会名	所掌事項
医療事故対策本部	(1)事故の原因調査に関すること (2)事故への対応策の検討に関すること (3)警察への届け出及び公表の検討に関すること
医療事故調査	医療事故対策本部長の判断により設置し、事故の原因調査について客観的な調査と判断を行う
医療未収金 対策特別	(1)医療未収金の発生防止に関すること (2)医療未収金の早期回収に関すること (3)医療未収金の債権管理に関すること (4)その他医療未収金に関し、大分県立病院長から委任された事項に関すること
災害対策本部	院長は、次のいずれかに該当するとき、災害対策本部を設置する。 (1)近隣での中事故、県内での自然災害等（10名程度の重傷患者を受け入れる可能性のある場合）が発生した場合（検討の結果、災害対策本部が設置されない場合もある） (2)近隣での大事故、県内での大規模自然災害等（10名を超える重傷患者を受け入れる可能性のある場合）が発生した場合（検討の結果、災害対策本部が設置されない場合もある） (3)県内のどこかで震度6弱以上の地震が発生した場合

チーム医療推進グループ

委員会名	所掌事項
<p>感染防止対策チーム (I C T)</p>	<p>(1)感染防止対策の企画に関すること (2)院内感染サーベイランスに関すること (3)感染症発生（アウトブレイク）対応に関すること (4)感染管理技術・感染管理マニュアルに関すること (5)感染管理教育に関すること (6)職業感染管理に関すること (7)感染管理コンサルテーションに関すること (8)ファシリティマネジメントに関すること (9)感染防止対策委員会の運営に関すること</p>
<p>抗菌薬適正使用 支援チーム (A S T)</p>	<p>(1)感染症治療の早期モニタリングに関すること (2)適切な検体採取と培養検査の提出に関すること (3)抗菌薬使用状況や血液培養複数セット提出等のプロセス指標及び耐性菌発生率 や抗菌薬使用量の等のアウトカム指標の定期的評価に関すること (4)抗菌薬の適正使用を目的とした職員の研修に関すること (5)抗菌薬の種類、用量の見直しに関すること (6)抗菌薬適正使用支援加算を算定していない医療機関からの相談に関すること</p>
<p>栄養サポートチーム (N S T)</p>	<p>(1)患者の栄養障害の程度を評価し、栄養治療の要否を判定すること (2)患者の摂食・嚥下障害の評価及び摂食・嚥下訓練の実施に関すること (3)適切な栄養治療法を指導・提言すること (4)栄養治療に伴う合併症の予防、早期発見及び治療を行うこと (5)職員からの患者紹介、栄養相談に応じること (6)栄養管理に使用する資材・素材を適切に選択し、医療資源の無駄を省くよう努めること (7)新しい知識の修得に努め、栄養管理に関する職員の啓発に努めること</p>
<p>呼吸サポートチーム (R S T)</p>	<p>(1)抜管に向けた適切な鎮静や人工呼吸器の設定に関すること (2)適切な酸素療法に関すること (3)人工呼吸器の安全管理と定期点検に関すること (4)口腔内の衛生管理に関すること (5)適切な排痰管理に関すること (6)廃用予防に関すること (7)呼吸器リハビリテーションおよび呼吸理学療法に関すること (8)呼吸ケアに携わる医療従事者への教育と各種マニュアルの整備に関すること</p>
<p>褥瘡対策</p>	<p>(1)褥瘡に関する診療計画に基づき褥瘡発生リスクの高い患者の状況把握及び予防 対策の実施に関すること (2)褥瘡の発生状況の把握及び状態把握の評価に関すること (3)褥瘡発生要因の分析及び対策の検討に関すること (4)褥瘡回診・カンファレンスの実施に関すること (5)褥瘡予防に係る用具等の管理及び検討に関すること (6)職員に対する勉強会の開催に関すること</p>
<p>糖尿病透析予防</p>	<p>(1)糖尿病透析予防チームの運営に関すること (2)糖尿病透析予防指導対象者の選定に関すること (3)糖尿病性腎症の診断と治療に関すること (4)糖尿病透析予防の食事指導に関すること (5)糖尿病透析予防の自己管理と生活指導に関すること (6)糖尿病透析予防指導の効果の評価及び報告に関すること (7)外来糖尿病教室「お話カフェ」の運営に関すること</p>

委員会名	所掌事項
緩和ケア	(1)患者・家族の全人的苦痛緩和に関する事 (2)緩和ケアに携わる医療従事者の支援に関する事 (3)医療従事者への緩和ケアの知識及び技術の普及に関する事
排尿ケア	(1)下部尿路機能障害の評価に関する事 (2)包括的排尿ケアの計画策定及び実施に関する事 (3)包括排尿ケアの評価に関する事 (4)排尿ケアに係るマニュアルの作成及び院内配布に関する事 (5)院内研修の実施に関する事
認知症ケア	(1)認知症患者のケアに関する事 (2)認知症ケアチーム介入患者に対するカンファレンス、ラウンドの実施に関する事 (3)勉強会・研修会の開催に関する事 (4)認知症ケアチーム活動の推進に関する事 (5)認知症ケアマニュアルに関する事 (6)地域の関係機関との連携体制の構築を推進する事

